

◆ 品川区 ◆ 中小企業の景況

令和元年度第2・四半期

(令和元年7～9月)

目 次



AI・業務自動化展
(令和元年10月23日～25日)

都内中小企業の景況（令和元年7～9月期）	1
品川区内中小企業の景況（令和元年7～9月期）	2
品川区の今期の特徴点	3
製 造 業	4
卸 売 業	9
小 売 業	13
サービス業	18
建 設 業	22
日銀短観	26
東京都と品川区の企業倒産動向	26
特別調査「省力化・効率化の取組について」	27
中小企業景況調査 比較表・転記表	31

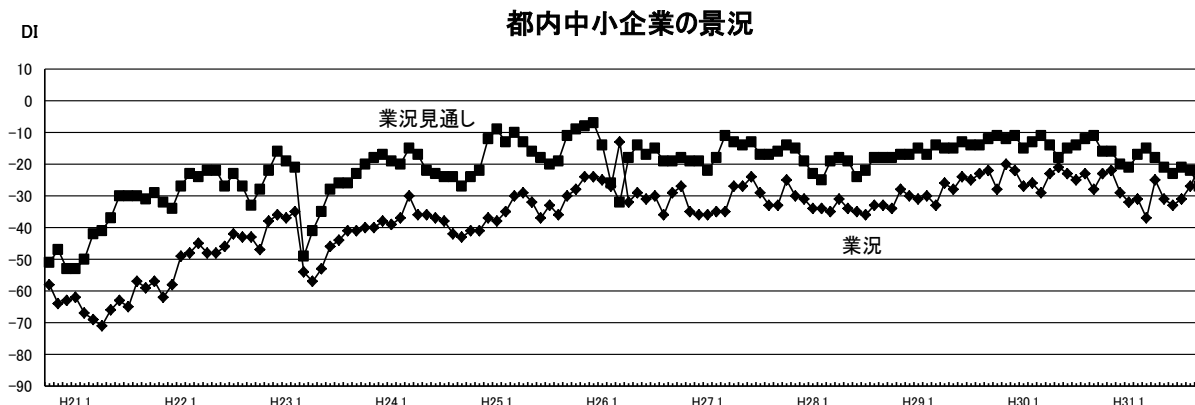
品川区地域振興部商業・ものづくり課

調査実施機関 株式会社 東京商工リサーチ

都内中小企業の景況（令和元年 7～9 月期）

業 況：全業種で改善し、特に卸売業は極端に改善。

見通し：製造業は今期並と見込まれるも、卸売業、小売業で大幅に悪化の見通し。



業況DI（季節調整済、「良い」企業割合－「悪い」企業割合）は▲21（前期は▲33）と、大幅に改善した。今後3ヶ月間の見通しでは、6月期ほどではないものの、大幅に悪化すると見込まれている。

	前 期 (R1.6)	今 期 (R1.9)	増 減	今後3ヶ月間 の見通し
製 造 業	▲ 37	▲ 28	9	▲ 28
卸 売 業	▲ 34	▲ 14	20	▲ 28
小 売 業	▲ 47	▲ 33	14	▲ 40
サービス業	▲ 17	▲ 12	5	▲ 17
全 体	▲ 33	▲ 21	12	▲ 27

令和元年9月の都内中小企業の業況DI（業況が「良い」とした企業割合－「悪い」とした企業割合）は、前期から12ポイント増の▲21と、大幅に改善した。今後3ヶ月間（10～12月）の業況見通しDIでは、今期比6ポイント減の▲27と、大幅に悪化する見通しとなっている。

都内中小企業の業況DIを業種別にみると、全業種で改善となっており、特に卸売業（▲14）は20ポイント増と極端に改善した。製造業（▲28）は9ポイント増、小売業（▲33）は14ポイント増と大幅に改善し、サービス業（▲12）は5ポイント増とやや改善とした。

なお、仕入価格DI（仕入単価が「上昇」とした企業割合－「低下」とした企業割合）をみると、卸売業（9）は9ポイント増と大幅に上昇し、小売業（3）も5ポイント増と上昇に転じた。一方、製造業（9）は1ポイント減とやや下降した。

販売価格DI（販売単価が「上昇」とした企業割合－「低下」とした企業割合）をみると、小売業（▲3）は7ポイント増と大幅な上昇に転じた。卸売業（3）は6ポイント増と大幅に上昇し、サービス業（▲1）は3ポイント増とやや上昇した。一方、製造業（▲6）は2ポイント減とやや下降した。

今後3ヶ月間（7～9月）の業況見通しDIを業種別にみると、製造業（▲28）は今期並となるものの、卸売業（▲28）は14ポイント減、小売業（▲40）は7ポイント減と大幅に悪化する見通し。サービス業（▲17）も5ポイント減とやや悪化が見込まれている。

【注】

○D. I ディフュージョン インデックス (Diffusion Indexの略)

D. I（ディーアイ）は、増加（又は「上昇」「楽」など）したと答えた企業割合から、減少（又は「下降」「苦しい」など）したと答えた企業割合を差引いた数値のことで、不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらかの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとするものです。

○（季節調整済）D. I

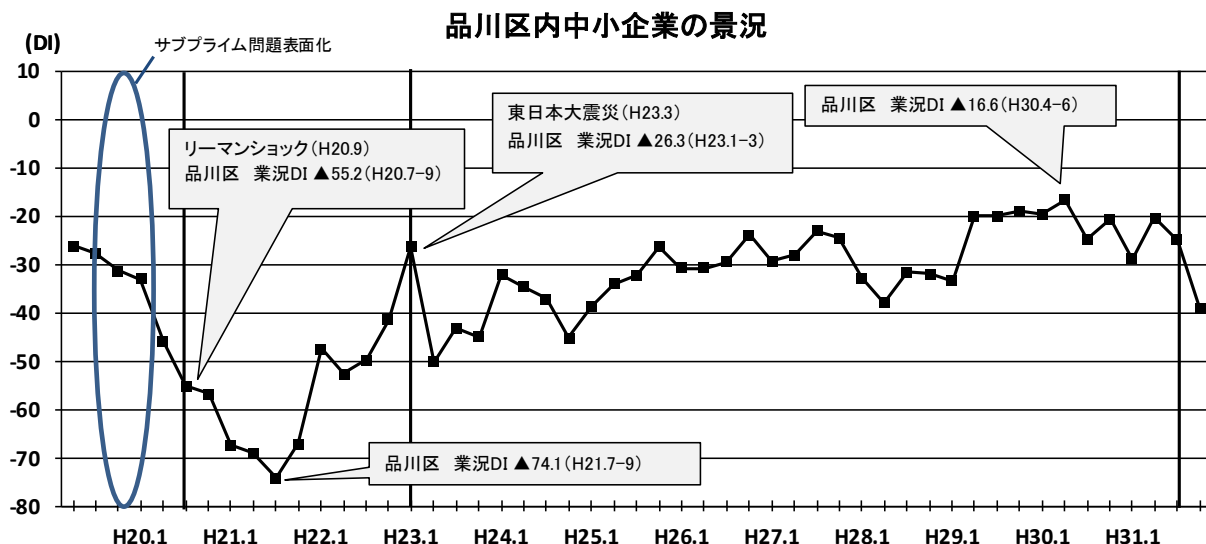
季節調整済とは、各期で季節的な変動を繰り返すD. Iを過去5年間まで遡り、季節的な変動を除去して加工したD. I値です。修正値ともいいます。

○傾向値

傾向値は、季節変動の大きな業種（例えば小売業）ほど有効で、過去の推移を一層なめらかにして景気の方角をみる方法です。

品川区内中小企業の景況（令和元年 7～9 月期）

業 況：小売業はやや改善。製造業は低調感がかなり強まる。
見通し：全業種で低調感が強まる。卸売業、サービス業は極端に悪化する見通し。



平成 14 年 2 月に始まった戦後最長の好況の影響からか、品川区の業況 DI は平成 18 年 10 月頃までは緩やかながらも回復基調にあった。その後、サブプライム問題が表面化した平成 19 年 7 月頃より業況 DI は低下が続き、リーマンショック発生から約 1 年後にあたる平成 21 年 7 月～9 月期の業況 DI は▲74 と、最も悪化した。以後、回復の軌跡をたどり、平成 23 年 3 月の東日本大震災発生直後には再び悪化がみられるが、リーマンショック発生後ほどの悪化とはなっていない。

なお、平成 20 年以降の業況 DI の最高値は、平成 30 年 4 月～6 月期の▲17 となっている。

品川区内中小企業の業況 DI

	前々期 (H31.1～3)	前期 (H31.4～R1.6)	今期 (R1.7～9)	今後 3 ヶ月間 の見通し
製 造 業	▲20	▲24	▲43	▲45
卸 売 業	▲44	▲28	▲33	▲53
小 売 業	▲38	▲33	▲30	▲37
サービス業	▲20	▲8	▲10	▲32
建 設 業	▲24	▲10	▲11	▲28
全 体	▲29	▲20	▲25	▲39

※小数点第 1 位を四捨五入した数値

《最近の景況動向》

今期の品川区内中小企業全体の業況は、低調感がやや強まった。来期（今後 3 ヶ月間の見通し）は低調感がかなり強まる見通しとなっている。業種別にみると、小売業はやや改善し、建設業は前期並となった。一方、卸売業、サービス業は低調感がやや強まり、製造業はかなり強まった。来期について、全業種で低調感が強まる見込み。製造業はやや悪化にとどまるものの、ほかの 4 業種すべてで大幅な悪化が見込まれており、特に卸売業、サービス業では DI 値が 20 ポイント以上低下する見通しとなっている。

経済産業省が取りまとめている鉱工業指数においては、9 月（速報）は生産、出荷はともに上昇し、在庫、在庫率は低下した。製造工業生産予測調査では、9 月は前月比 1.9% の上昇、10 月は 0.5% の低下を予測している。なお、総務省統計局が取りまとめている 9 月の消費者物価指数（2015 年=100）は 101.9（中分類総合指数）となっており、前月と同水準（季節調整値）であった。

品川区の今期の特徴点

景 気 予 報						
大きく上昇	上 昇	やや上昇	横 這 い	やや下降	下 降	大きく下降

全 体



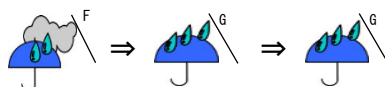
業況は低調感がやや強まった。売上額、収益はともに減少幅がかなり拡大した。販売価格は下降傾向がやや強まり、仕入価格は前期並となった。資金繰りは厳しさがやや和らいだ。

製 造 業



業況は低調感がかなり強まった。売上額、収益はともに減少幅がかなり拡大した。販売価格は前期並となり、原材料価格は上昇傾向がかなり弱まった。在庫は過剰感がやや強まった。資金繰りは厳しさがかなり増した。

卸 売 業



業況は低調感がやや強まった。売上額は減少幅がやや縮小し、収益は減少幅がかなり拡大した。販売価格は下降傾向がやや弱まり、仕入価格は上昇傾向がかなり強まった。在庫は過剰感がやや強まった。資金繰りは厳しさがかなり和らいだ。

小 売 業



業況はやや改善した。売上額は減少幅が極端に拡大し、収益は減少幅がかなり拡大した。販売価格は上昇に転じ、仕入価格は前期並となった。在庫は過剰感がやや強まった。資金繰りは厳しさがかなり和らいだ。

サ ー ビ ス 業



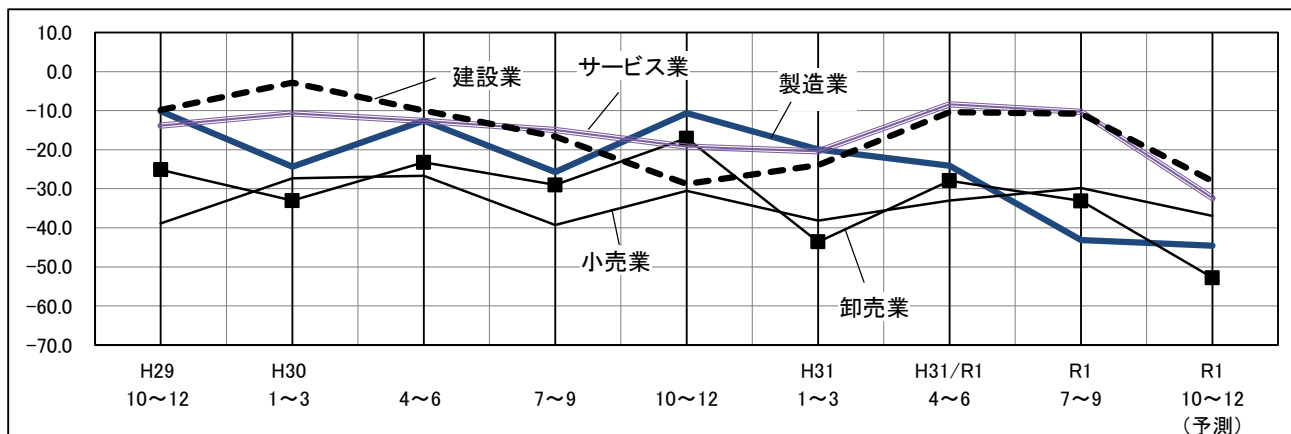
業況は低調感がやや強まった。売上額、収益はともに減少幅が極端に拡大した。料金価格は上昇から下降に転じ、材料価格は前期並となった。資金繰りは厳しさがやや増した。

建 設 業

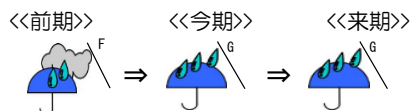


業況は前期並となった。売上額、施工高、収益のすべてにおいて減少幅がかなり拡大した。請負価格は下降傾向がかなり強まった。材料価格、在庫はともに前期並となった。資金繰りは厳しさがやや和らいだ。

各業種別業況の動き（実績）と来期の予測



製造業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況(△24→△43)は低調感がかなり強まり、売上額(△21→△39)、収益(△34→△49)はともに減少幅がかなり拡大した。

なお、全都と比較した当区の業況は15ポイント下回っている。

価格・在庫動向

販売価格(△11→△12)はほぼ前期並となり、原材料価格(44→32)は上昇傾向がかなり弱まった。在庫(14→18)は過剰感がやや強まった。

資金繰り・借入金動向

資金繰り(△18→△25)は厳しさがかなり増し、借入難易度(8→3)は容易さがかなり縮小した。今期借入れをした企業は28%で前期の25%から3ポイント増加した。

経営上の問題点・重点経営施策

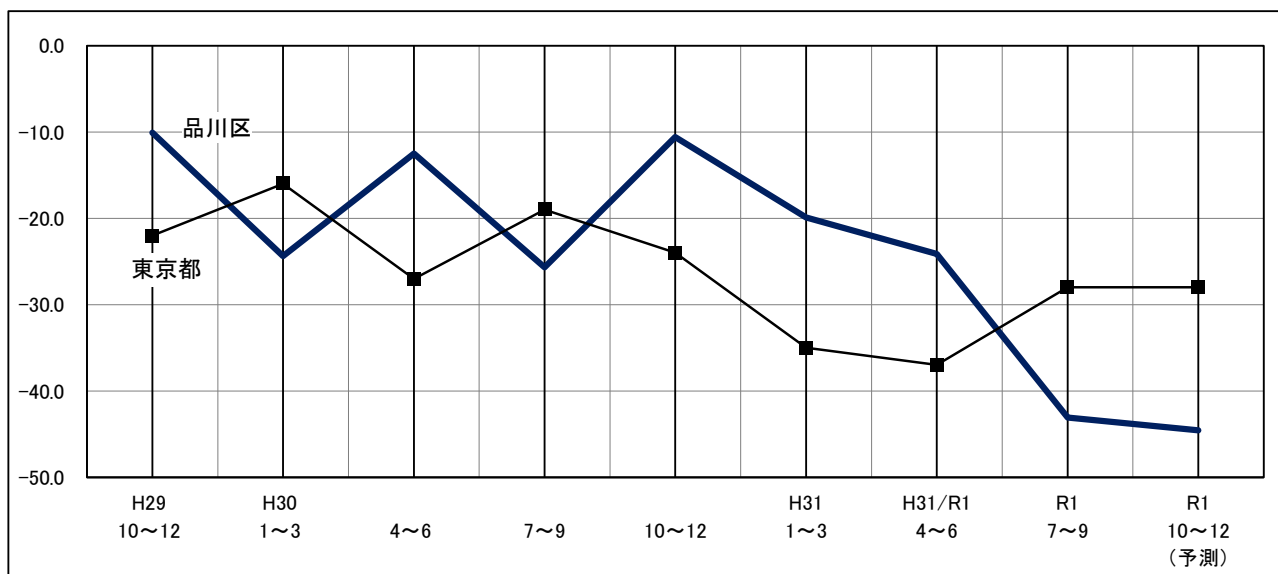
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」が65%、2位は「人手不足」が28%、3位は「工場・機械の狭小・老朽化」が19%となった。前期3位だった「原材料高」は今期4位と順位を下げ、前期4位だった「工場・機械の狭小・老朽化」が今期3位と順位を上げた。

重点経営施策は、1位は「販路を広げる」が55%、2位は「経費を節減する」が48%、3位は「人材を確保する」が37%となった。前期と比べ、上位5項目に変動はなかった。

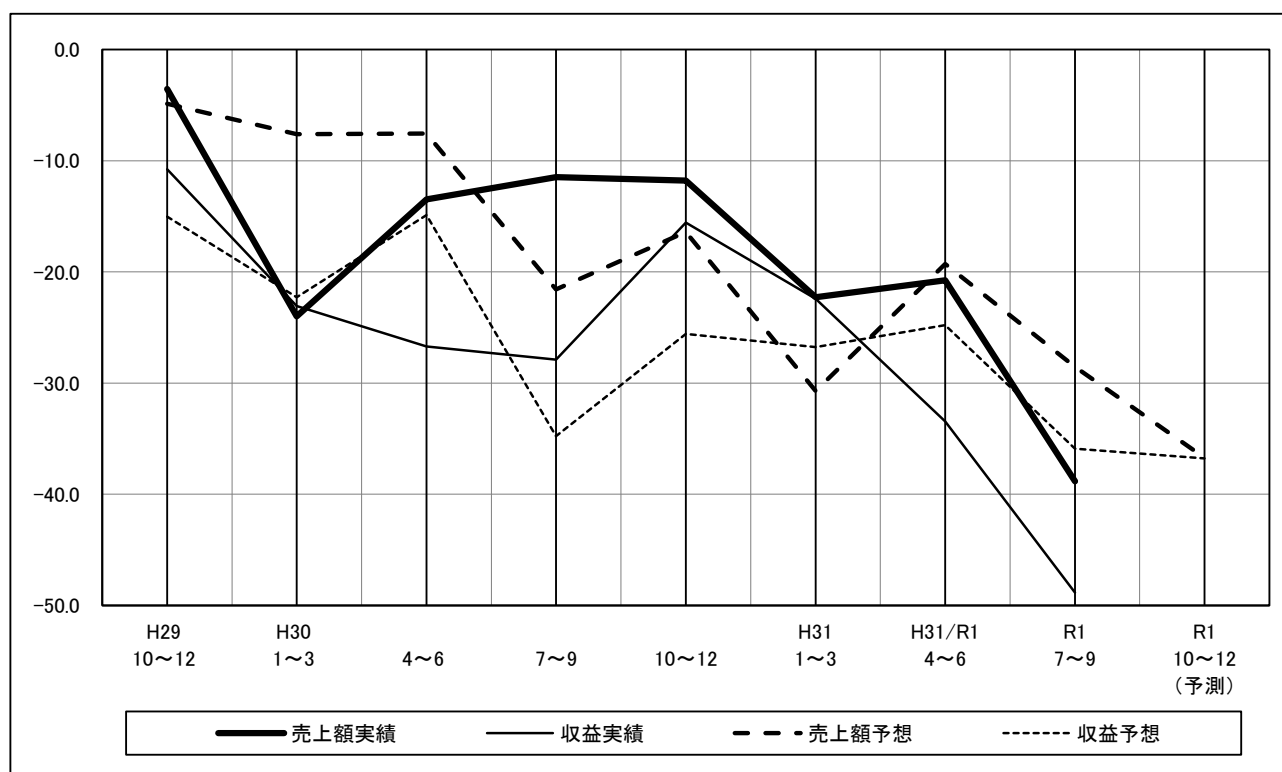
来期の見通し

業況(△43→△45)は低調感がやや強まる見込み。売上額は減少幅がやや縮小し、収益は減少幅がかなり縮小すると予想されている。

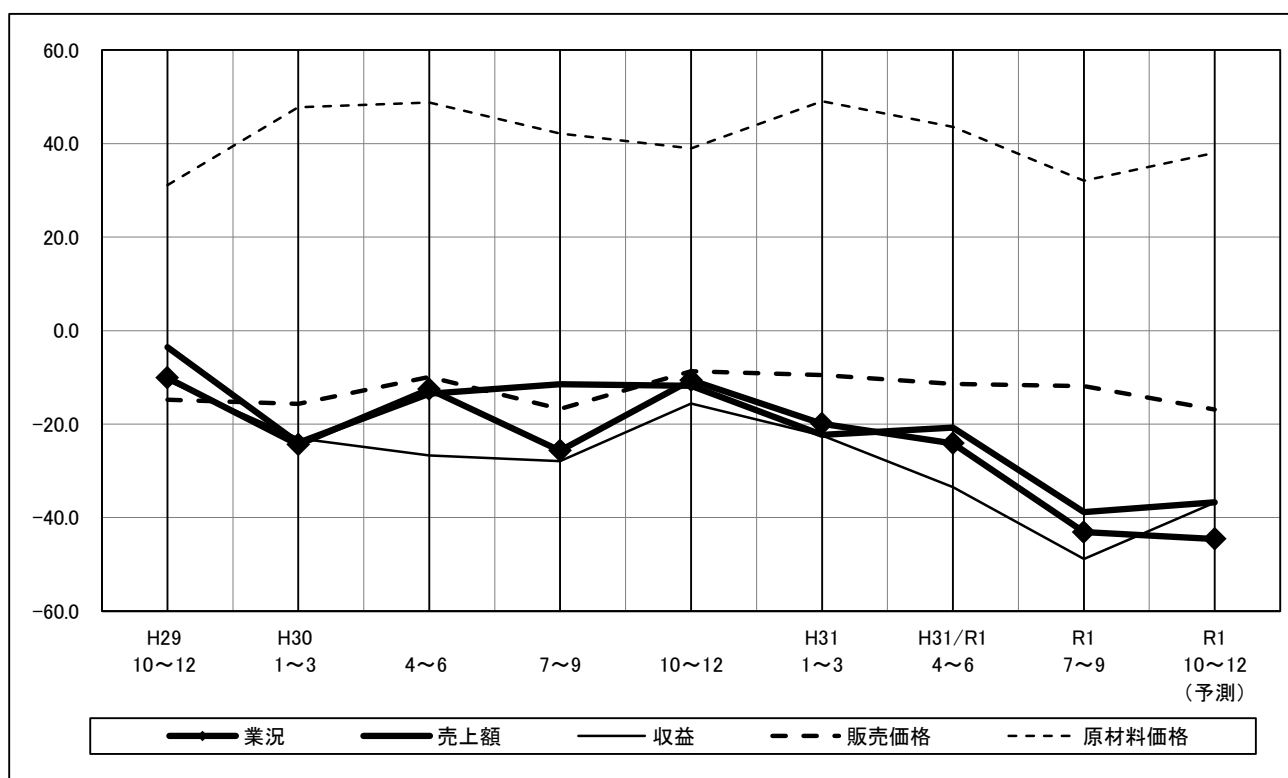
〈製造業〉品川区と東京都の業況の動き(実績)と来期の予測



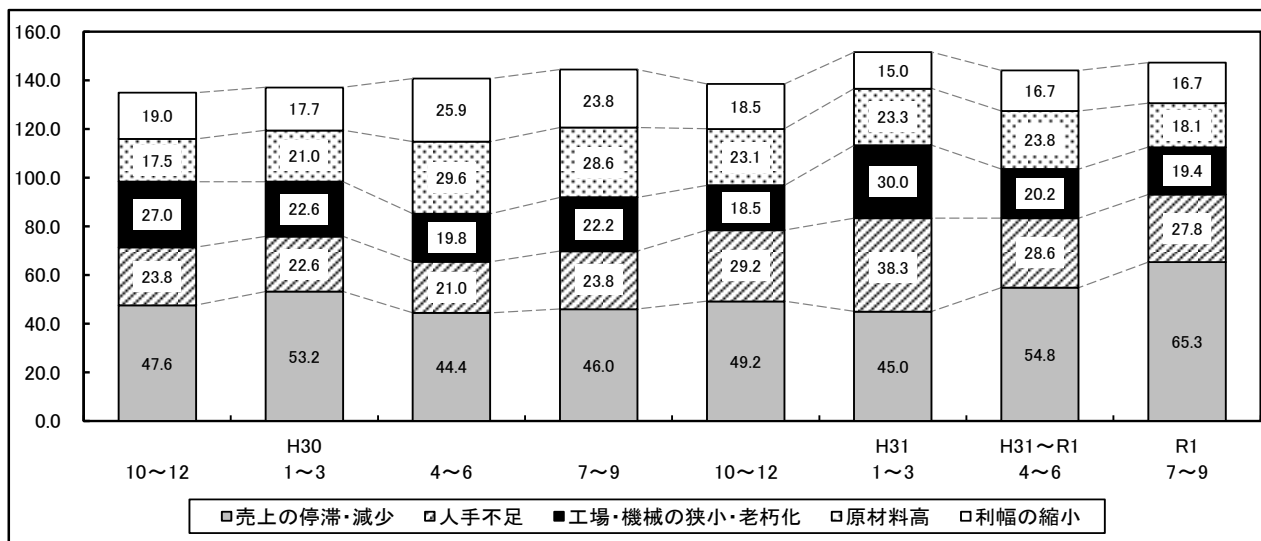
〈製造業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



〈製造業〉 業況と売上額、収益、販売価格、原材料価格の動き（実績）と来期の予測

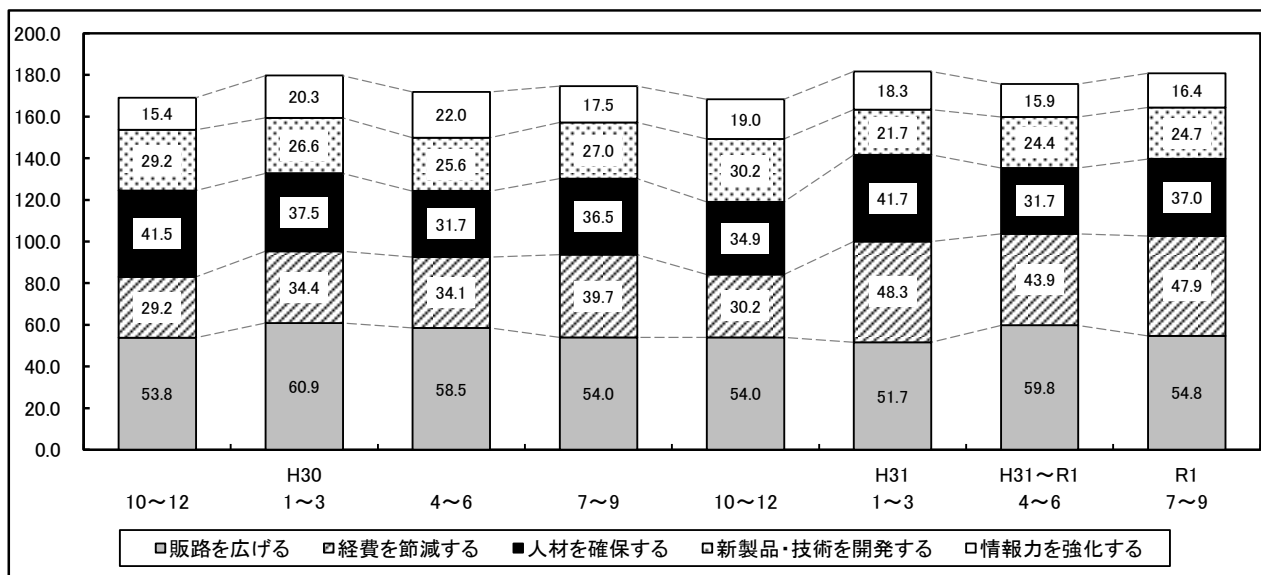


〈製造業〉 経営上の問題点（％）



	H30. 10～12月期		H31. 1～3月期		H31. 4～R1. 6月期		R1. 7～9月期	
第1位	売上停滞・減少	49.2 %	売上停滞・減少	45.0 %	売上停滞・減少	54.8 %	売上停滞・減少	65.3 %
第2位	人手不足	29.2 %	人手不足	38.3 %	人手不足	28.6 %	人手不足	27.8 %
第3位	原材料高	23.1 %	工場・機械の狭小・老朽化	30 %	原材料高	23.8 %	工場・機械の狭小・老朽化	19.4 %
第4位	利幅の縮小	18.5 %	原材料高	23.3 %	工場・機械の狭小・老朽化	20.2 %	原材料高	18.1 %
	工場・機械の狭小・老朽化	18.5 %						
第5位	同業者間の競争の激化	13.8 %	利幅の縮小	15.0 %	利幅の縮小	16.7 %	利幅の縮小	16.7 %

〈製造業〉 重点経営施策（％）



	H30. 10～12月期		H31. 1～3月期		H31. 4～R1. 6月期		R1. 7～9月期	
第1位	販路を広げる	54.0 %	販路を広げる	51.7 %	販路を広げる	59.8 %	販路を広げる	54.8 %
第2位	人材を確保する	34.9 %	経費を節減する	48.3 %	経費を節減する	43.9 %	経費を節減する	47.9 %
第3位	経費を節減する	30.2 %	人材を確保する	41.7 %	人材を確保する	31.7 %	人材を確保する	37.0 %
	新製品・技術を開発する	30.2 %						
第4位	情報力を強化する	19.0 %	新製品・技術を開発する	21.7 %	新製品・技術を開発する	24.4 %	新製品・技術を開発する	24.7 %
	教育訓練を強化する	19.0 %						
第5位	工場・機械を増設・移転する	15.9 %	情報力を強化する	18.3 %	情報力を強化する	15.9 %	情報力を強化する	16.4 %

(1) 電気機械器具

業況(△25→△31)は低調感がかなり強まった。売上額(△23→△41)、収益(△19→△36)はともに減少幅がかなり拡大した。販売価格(12→△6)は上昇から下降に転じ、原材料価格(44→44)は前期並となった。資金繰り(△11→△3)は厳しさがかなり和らいだ。

来期の業況はやや改善すると予想されている。

(2) 一般機械器具・金型

業況(8→△25)は悪化に転じた。売上額(29→△27)は増加から減少に転じ、収益(△7→△55)は減少幅が極端に拡大した。販売価格(△10→11)は上昇に転じ、原材料価格(30→19)は上昇傾向がかなり弱まった。資金繰り(△18→△40)は厳しさが極端に増した。

来期の業況はやや改善すると予想されている。

(3) 出版・印刷・同関連産業

業況(△18→△56)は低調感が極端に強まった。売上額(△27→△16)、収益(△30→△15)はともに減少幅がかなり縮小した。販売価格(△9→△18)は下降傾向がかなり強まり、原材料価格(42→35)は上昇傾向がかなり弱まった。資金繰り(△6→△15)は厳しさがかなり増した。

来期の業況はかなり改善すると予想されている。

(4) 金属製品・建設用金属製品・プレスメッキ

業況(△53→△68)は低調感がかなり強まった。売上額(△54→△81)は減少幅が極端に拡大し、収益(△68→△86)は減少幅がかなり拡大した。販売価格(△36→△43)は下降傾向がかなり強まり、原材料価格(48→24)は上昇傾向が極端に弱まった。資金繰り(△36→△46)は厳しさがかなり増した。

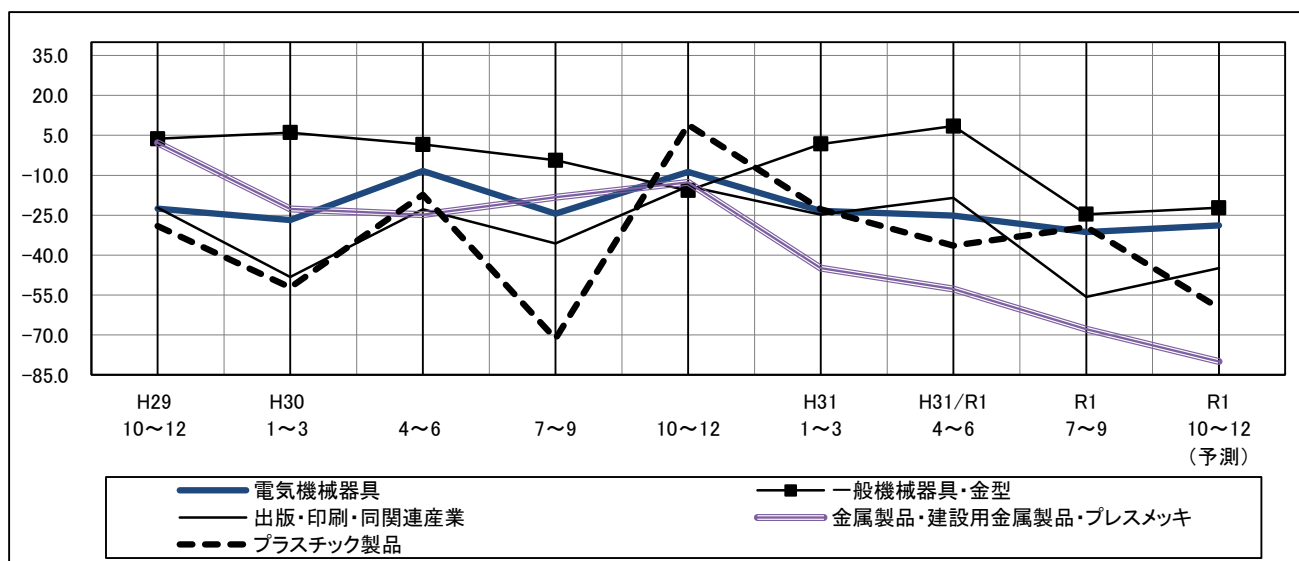
来期の業況は低調感がかなり強まると予想されている。

(5) プラスチック製品

業況(△36→△29)はかなり改善した。売上額(△38→3)は増加に転じ、収益(△44→△27)は減少幅がかなり縮小した。販売価格(△12→△2)は下降傾向がかなり弱まり、原材料価格(65→47)は上昇傾向がかなり弱まった。資金繰り(△4→△13)は厳しさがかなり増した。

来期の業況は低調感が極端に強まると予想されている。

〈製造業〉業種中分類別の業況の動き(実績)と来期の予測



製造業 業種別コメント

＜電気機械器具＞

1. 受注増の中、下請の確保難。
2. 製品のグレードダウンの指示があり、即時の対応が出来ていない。
3. アメリカと中国の関係が悪いことから、各企業にも影響が出ており、それが当社の受注にも響いている。
4. 今期前半は特需があったが、後半はそれも見込めず苦しくなりそうである。
5. 米中貿易戦争の影響か、前期（昨年）と比べて、売上の減少が続いている。
6. 売上減、人手不足。
7. 受注が増え、資金繰りは楽だがその分忙しく、残業が増えている。
8. 売上の低迷が深刻。

＜一般機械器具・金型＞

1. 難易度が高い割に単価はあまり高くない製品が多量発注され、全体の生産計画にやや影響あり。しかしながら技術力向上の良い機会でもあり、対応している。
2. 良い人材が採用できずに人手不足である。
3. ありがたいことに引合い数が伸びている。
4. 大手企業の設備買い控えにより受注減少。
5. 米中トラブルの影響が大きい。注文に元気がない。
6. 今年のお盆過ぎから引き合いが増えてきた。求人は困難を極めている。
7. 大学研究所よりの仕事依頼が多く、あまり値引き等の話がない。今の時期、誠に恵まれていると思う。
8. 後継者がいない。得意先に大変恵まれているだけに、もったいない。
9. 世界的な自動車の生産減少。
10. 米中貿易戦争といわれるものがあり、先行きが不明。若年層の人材確保が難しい。
11. 人材の不足により新製品開発の遅延。従業員の高齢化。
12. 売上は増加している。原材料の値上がりを販売価格に転嫁していないことから収益は減少している。来年から、販売価格を値上げする予定。

＜出版・印刷・同関連産業＞

1. 景気がやや上向いているのか売上が少し増えた。
2. 10月の消費増税に向けて、先行きが見えない中、顧客の積極的な購買意欲は感じられない。少しでも全ての経費を見直すこと、できるだけ現金を確保しておくこととしている。
3. 世代交代の時期に来ているが、募集をしても応募者が少なく人手不足になっている。
4. 広告費削減、デジタル（映像等）に移行傾向の影響が大きく、印刷物が減少している。

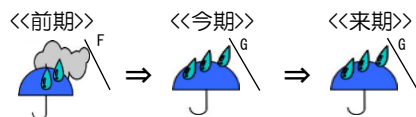
＜金属製品・建設用金属製品・プレスメッキ＞

1. 受注減少。
2. 機械の老朽化。人材確保が難しい。
3. 金型作成など、会社の規模に合わせ投資をしている。
4. 得意先の生産拠点が海外へ移る影響が大きい。
5. オリンピック特需が終わり、先の見通しが立たない。
6. 受注が減った。
7. 取引先の受注が大幅に減少している。取引先が廃業している。
8. 人手不足。

＜プラスチック製品＞

1. 中国法人への売上減少に伴う材料売上等の減少。
2. 年齢的にそろそろ会社を廃業したいと思っているが、技術を覚えようという人材があまりに少なく、若い人たちの意識に大きな問題があり、形ばかりの技術者が多くなりすぎている。十数年後に日本の技術はダメになるのではないかと心配。

卸 売 業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況(△28→△33)は低調感がやや強まった。売上額(△33→△31)は減少幅がやや縮小し、収益(△28→△39)は減少幅がかなり拡大した。

なお、全都と比較した当区の業況は19ポイント下回っている。

価格・在庫動向

販売価格(△3→△1)は下降傾向がやや弱まり、仕入価格(32→43)は上昇傾向がかなり強まった。在庫(16→19)は過剰感がやや強まった。

資金繰り・借入金動向

資金繰り(△15→△7)は厳しさがかなり和らぎ、借入難易度(△2→7)は好転した。今期借入れをした企業は35%で前期の35%と同様となった。

経営上の問題点・重点経営施策

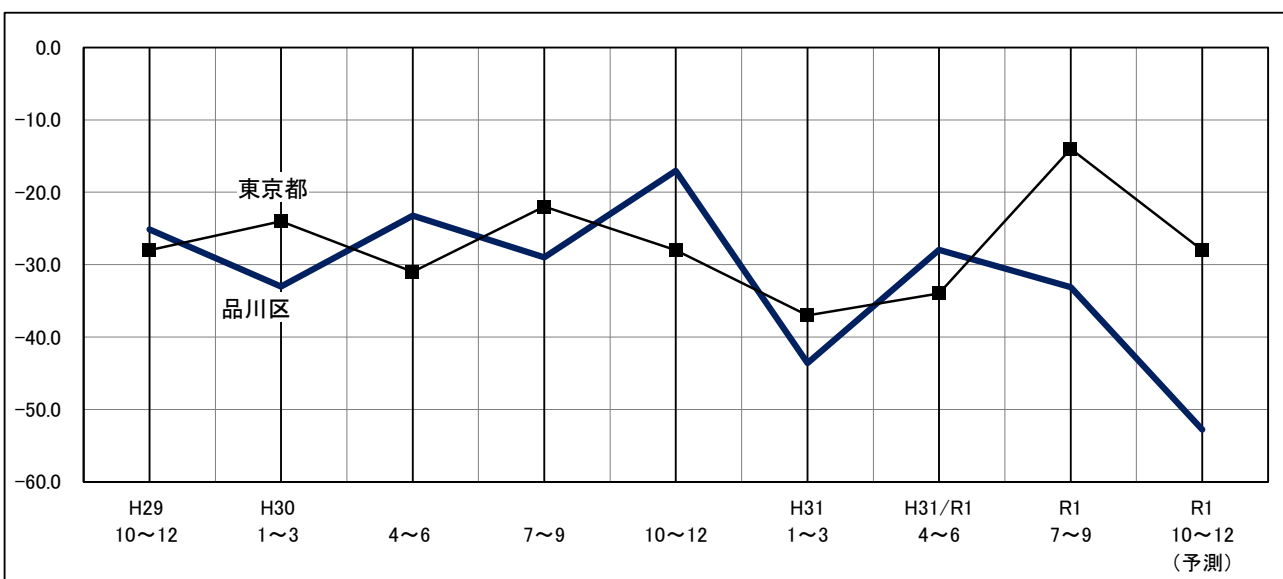
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」が60%、2位は「利幅の縮小」が29%、3位は「人手不足」が24%となった。前期3位だった「同業者間の競争の激化」が今期4位と順位を下げ、前期5位だった「人手不足」が今期3位と順位を上げた。

重点経営施策は、1位は「販路を広げる」が57%、2位は「経費を節減する」が39%、3位は「情報力を強化する」が32%となった。前期3位だった「人材を確保する」は今期4位と順位を下げ、前期4位だった「情報力を強化する」が今期3位と順位を上げた。

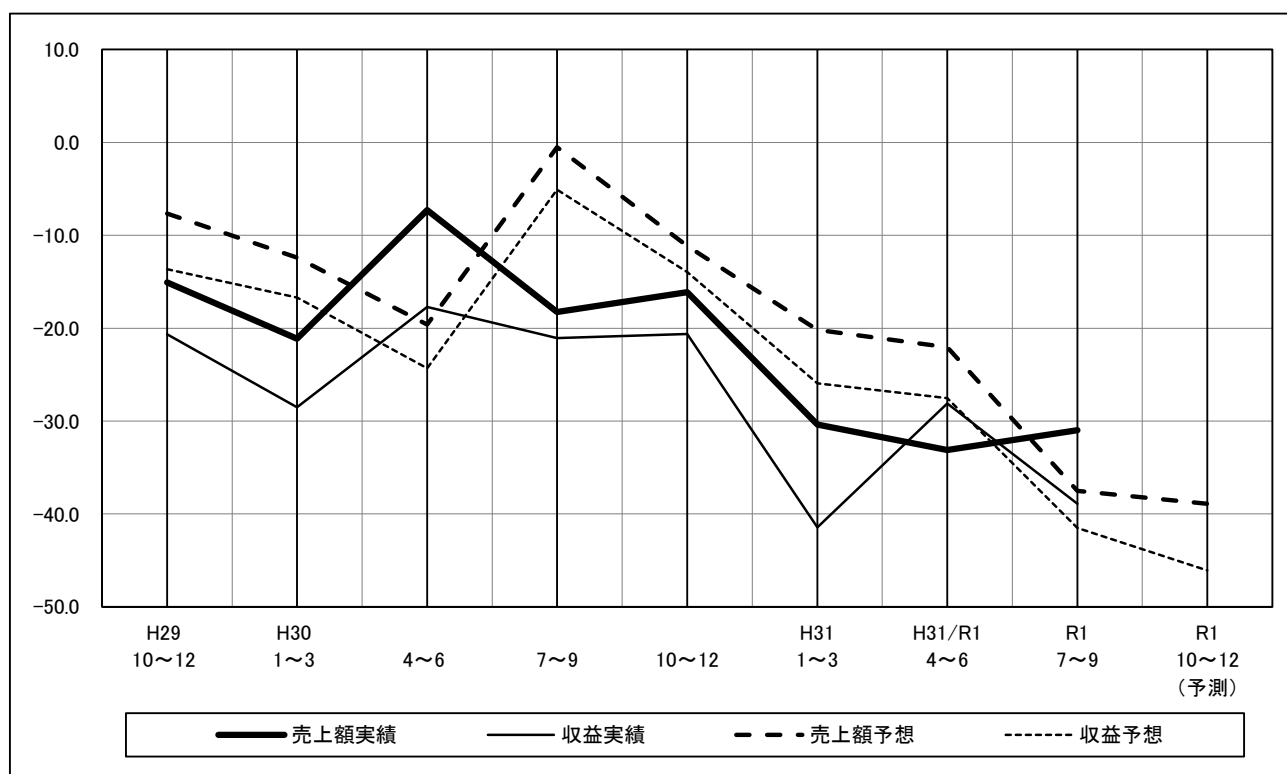
来期の見通し

業況(△33→△53)は低調感が極端に強まる見込み。売上額は減少幅がかなり拡大し、収益は減少幅がかなり拡大すると予想されている。

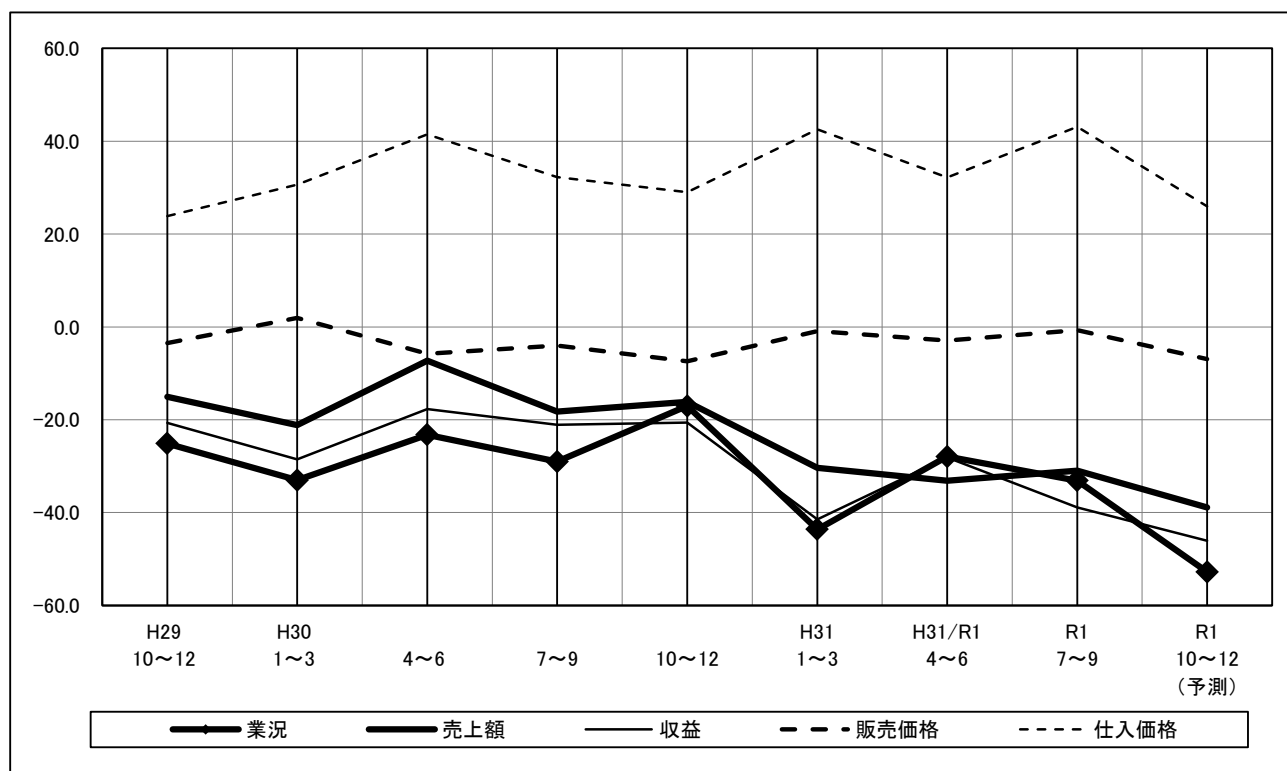
〈卸売業〉 品川区と東京都の業況の動き（実績）と来期の予測



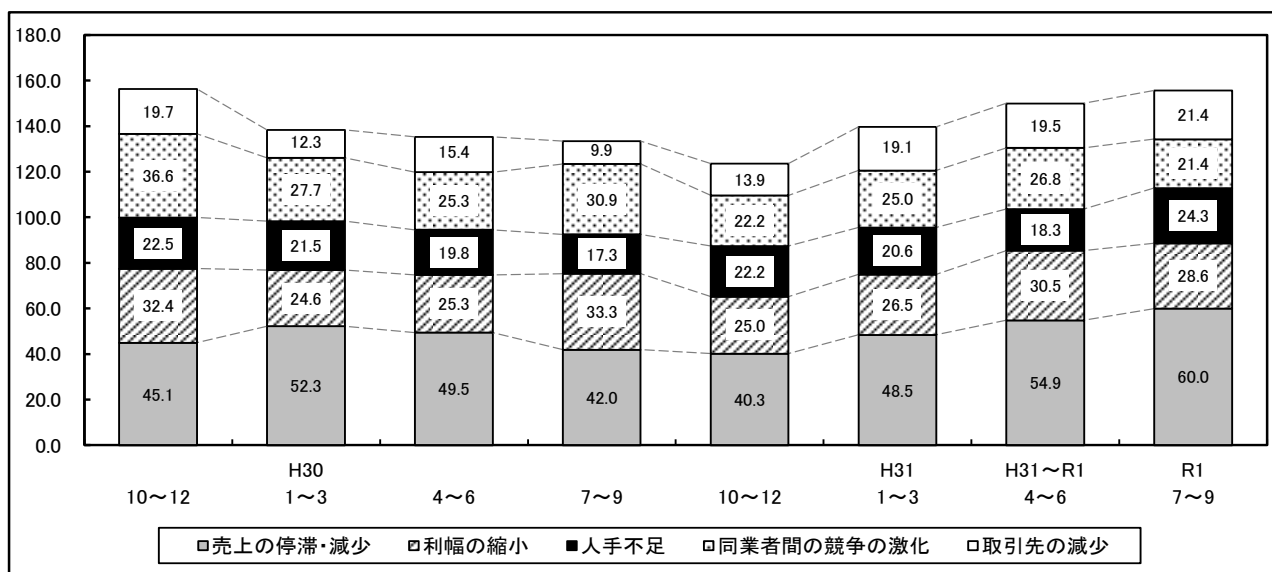
〈卸売業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



〈卸売業〉 業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測

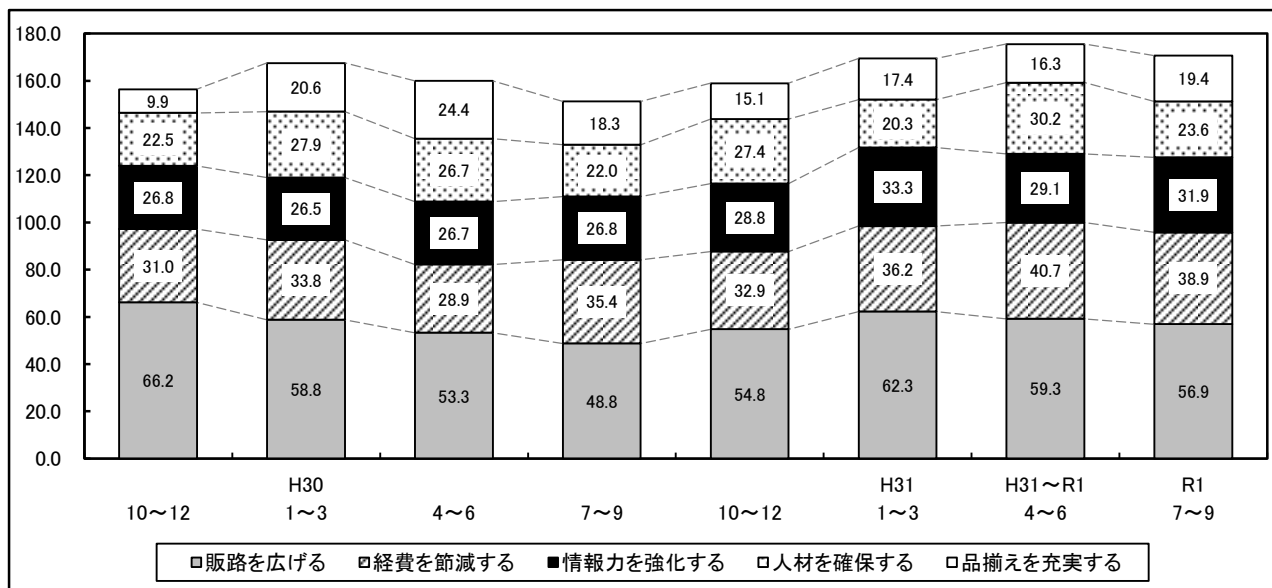


〈卸売業〉 経営上の問題点（％）



	H30. 10～12月期		H31. 1～3月期		H31. 4～R1. 6月期		R1. 7～9月期	
第1位	売上停滞・減少	40.3 %	売上停滞・減少	48.5 %	売上停滞・減少	54.9 %	売上停滞・減少	60.0 %
第2位	利幅の縮小	25.0 %	利幅の縮小	26.5 %	利幅の縮小	30.5 %	利幅の縮小	28.6 %
第3位	人手不足	22.2 %	同業者間の競争の激化	25.0 %	同業者間の競争の激化	26.8 %	人手不足	24.3 %
第4位	同業者間の競争の激化	22.2 %	為替レートの変動	16.7 %	取引先の減少	19.5 %	同業者間の競争の激化	21.4 %
第5位	仕入先からの値上げ要請	15.3 %	人手不足	20.6 %	為替レートの変動	18.3 %	取引先の減少	21.4 %
			取引先の減少	19.1 %			為替レートの変動	12.9 %

〈卸売業〉 重点経営施策（％）



	H30. 10～12月期		H31. 1～3月期		H31. 4～R1. 6月期		R1. 7～9月期	
第1位	販路を広げる	54.8 %	販路を広げる	62.3 %	販路を広げる	59.3 %	販路を広げる	56.9 %
第2位	経費を節減する	32.9 %	経費を節減する	36.2 %	経費を節減する	40.7 %	経費を節減する	38.9 %
第3位	情報力を強化する	28.8 %	情報力を強化する	33.3 %	人材を確保する	30.2 %	情報力を強化する	31.9 %
第4位	人材を確保する	27.4 %	人材を確保する	20.3 %	情報力を強化する	29.1 %	人材を確保する	23.6 %
第5位	品揃えを充実する	15.1 %	品揃えを充実する	17.4 %	品揃えを充実する	16.3 %	品揃えを充実する	19.4 %

卸売業 業種別コメント

1. 米中間の競争激化が大きく影響している。製品の余剰で、単価下落がある。
2. 需要が増え、増収のものの、競合との競争激化により、利益の減少が続いている。
3. 新しいニーズへの対応。このためのシステム、人材の確保が重要。
4. 売上高減少に歯止めをかけることが急務。
5. 景気の問題もあるが、商品自体、競争力、販売力の問題が課題であると認識している。
6. 国内の電機メーカーの衰退により、売上の回復が見込めず、過去の基準は当てはまらなくなった。
7. 消費税の増税は、景気に対しマイナスに作用すると予想している。
8. 法令改正により移行の作業が増大し、残業時間が増えている。
9. 2020 年のオリンピックにともなう需要が増え、増収増益を予定。
10. 仕入商品の値上げに伴い、同業社間の競争が激しくなっている。今後の増収増益は難しくなると思われる。
11. 減収・減益が見込まれるため、経費節減し、販路を拡大していく予定。
12. 主要取引先からの安定した受注が続いており全体の売上は増えているものの、同時に危うさも増大している。
13. 貿易摩擦の影響が大きくあり、来期はやや上向きになる様に感じられる。
14. 通販に押され通常の販売先の確保が難しくなっている。少量でも値段が安いので販売先の運賃も含めると利益がなくなる。
15. 現在は販売納入先の多数化を図り、一つの店にあまり売上が偏らないよう、分散販売に力を入れている（販売リスクの分散化・仕事量や回収リスクの分散化）。その効果が出始めているが、仕事の効率化をもっと必要とする欠点も見えてきた（多数の顧客管理が大変で、その分経費が増加している）。
16. 人口減による需要減。
17. 需要が減り、減収減益が発生した。
18. 国内商品が高齢化により生産できない。入手が困難。販売数量の確保が難しい。
19. 取扱品の減少が続いている。米中の貿易摩擦により、輸出量が低下している。
20. 安定して受注を確保している。
21. 得意先の、高齢化による廃業が影響している。
22. 10 月からの消費税 10%の影響がどのような形で現れるのか不安です。色々なものが値上がりになり、買い控えになるのは目に見えてきているのに、対策を立てることができない。近所の家族経営の事業者は廃業しています。
23. 製鉄事業の景況が悪く来年度は厳しい。
24. オリンピックの設備投資関連も落ち着いてきているので、しばらくは業界が停滞してくると思われる。
25. 固定経費が高騰している。
26. 大変特殊な商品のため、増収増益が続いている。
27. 下期の取引先の予算による。
28. 今後、状況の変化があるとは考えていない。
29. 市場は大変厳しく、それに伴い売上の減少が続いている。逆に仕入価格や流通コストなどは上がっている。
30. 大手企業の工場の縮小、撤退。取引先中小企業の後継者難、売上不振に伴う廃業により前年を下回る売上が続いている。

小 売 業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況(△33→△30)はやや改善した。売上額(△22→△46)は減少幅が極端に拡大し、収益(△33→△47)は減少幅がかなり拡大した。

なお、全都と比較した当区の業況は3ポイント上回っている。

価格・在庫動向

販売価格(△2→1)は上昇に転じ、仕入価格(41→40)はほぼ前期並となった。在庫(9→12)は過剰感がやや強まった。

資金繰り・借入金動向

資金繰り(△28→△19)は厳しさがかなり和らぎ、借入難易度(△13→△3)はかなり改善した。今期借入れをした企業は24%で前期の30%から6ポイント減少した。

経営上の問題点・重点経営施策

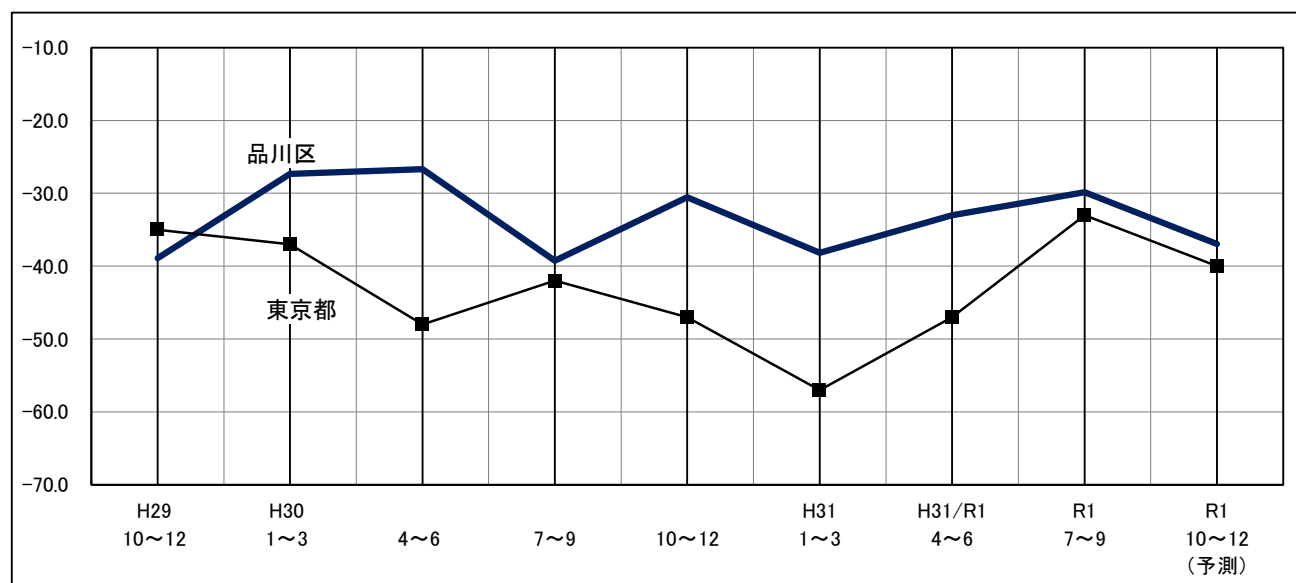
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」が54%、2位は「人手不足」が43%、3位は「人件費の増加」が23%となった。前期と比べ、上位3項目に変動はなかった。

重点経営施策は、1位は「経費を節減する」が50%、2位は「人材を確保する」が36%、3位は「売れ筋商品を取扱う」が31%となった。前期3位だった「宣伝・広報を強化する」は今期5位と順位を下げ、前期4位だった「売れ筋商品を取扱う」が、今期3位となり順位を上げた。

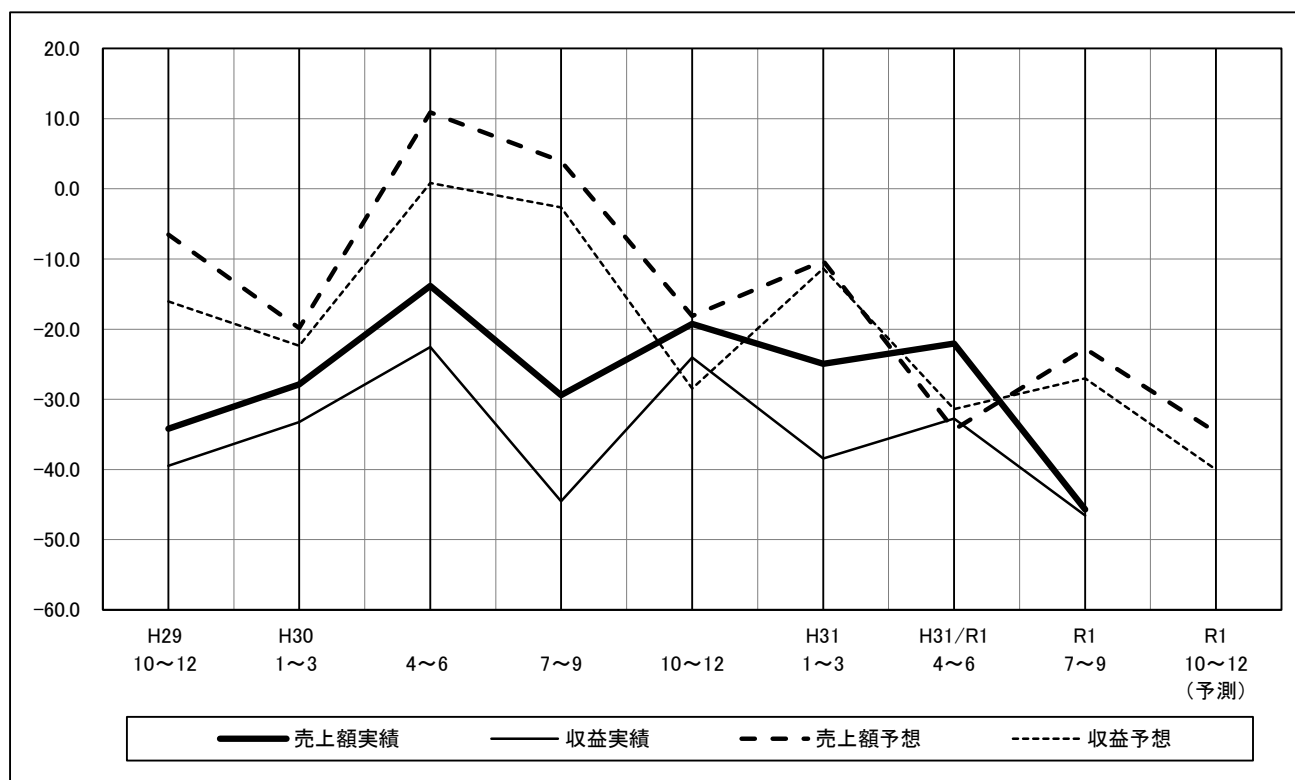
来期の見通し

業況(△30→△37)は低調感がかなり強まる見込み。売上額、収益はともに減少幅がかなり縮小すると予想されている。

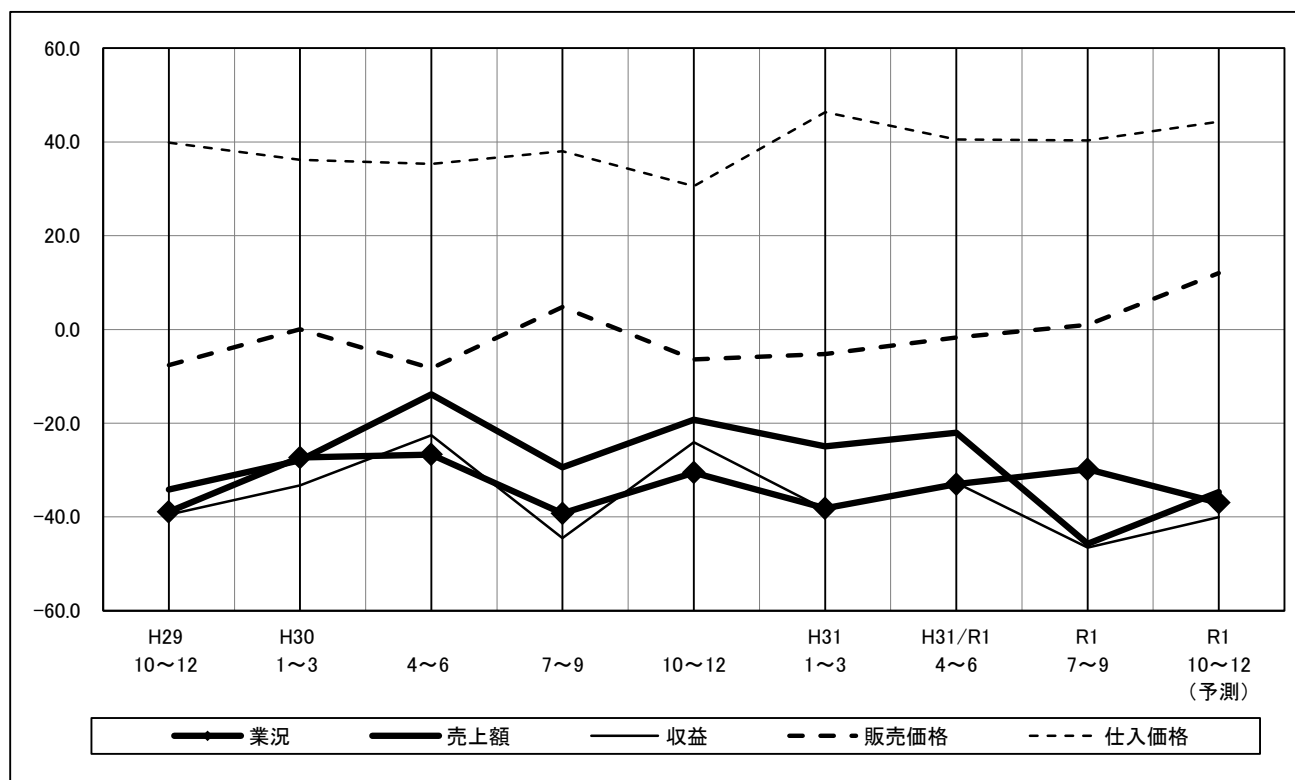
〈小売業〉 品川区と東京都の業況の動き(実績)と来期の予測



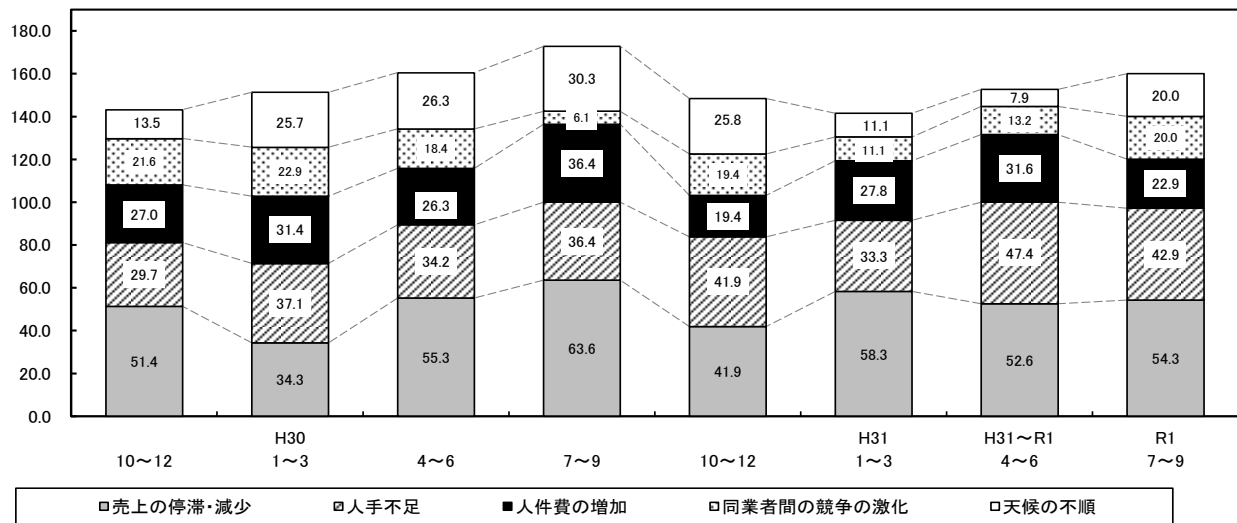
〈小売業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



〈小売業〉 業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測

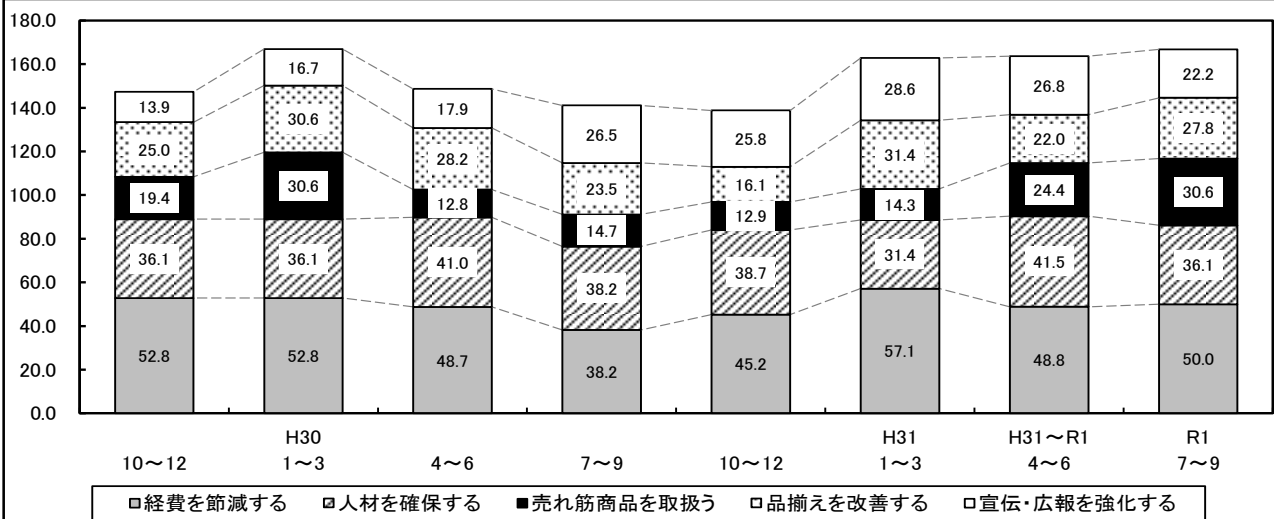


〈小売業〉 経営上の問題点（％）



	H30. 10～12月期		H31. 1～3月期		H31. 4～R1. 6月期		R1. 7～9月期	
第1位	売上上の停滞・減少	41.9 %	売上上の停滞・減少	58.3 %	売上上の停滞・減少	52.6 %	売上上の停滞・減少	54.3 %
	人手不足	41.9 %						
第2位	商店街の集客力の低下	25.8 %	人手不足	33.3 %	人手不足	47.4 %	人手不足	42.9 %
	天候の不順	25.8 %						
第3位	同業者間の競争の激化	19.4 %	人件費の増加	27.8 %	人件費の増加	31.6 %	人件費の増加	22.9 %
	人件費の増加	19.4 %						
第4位	利幅の縮小	16.1 %	取引先の減少	19.4 %	人件費以外の経費の増加	18.4 %	同業者間の競争の激化	20.0 %
	店舗の狭小・老朽化	16.1 %	商店街の集客力の低下	19.4 %			天候の不順	20.0 %
第5位	仕入先からの値上げ要請	9.7 %	店舗の狭小・老朽化	16.7 %	取引先の減少	15.8 %	仕入先からの値上げ要請	17.1 %

〈小売業〉 重点経営施策（％）



	H30. 10～12月期		H31. 1～3月期		H31. 4～R1. 6月期		R1. 7～9月期	
第1位	経費を節減する	45.2 %	経費を節減する	57.1 %	経費を節減する	48.8 %	経費を節減する	50.0 %
第2位	人材を確保する	38.7 %	品揃えを改善する	31.4 %	人材を確保する	41.5 %	人材を確保する	36.1 %
			人材を確保する	31.4 %				
第3位	宣伝・広報を強化する	25.8 %	宣伝・広報を強化する	28.6 %	宣伝・広報を強化する	26.8 %	売れ筋商品を取扱う	30.6 %
	仕入先を開拓・選別する	25.8 %						
第4位	品揃えを改善する	16.1 %	仕入先を開拓・選別する	22.9 %	売れ筋商品を取扱う	24.4 %	品揃えを改善する	27.8 %
第5位	売れ筋商品を取扱う	12.9 %	店舗・設備を改装する	20.0 %	品揃えを改善する	22.0 %	宣伝・広報を強化する	22.2 %
	教育訓練を強化する	12.9 %						

(1) 飲食料品

業況(△6→△1)はやや改善した。売上額(△16→△54)、収益(△21→△61)はともに減少幅が極端に拡大した。販売価格(21→△5)は上昇から下降に転じ、仕入価格(60→65)は上昇傾向がやや強まった。資金繰り(△10→△8)は厳しさがやや和らいだ。

来期の業況は低調感がかなり強まると予想されている。

(2) 飲食店

業況(△17→△41)は低調感が極端に強まった。売上額(△3→△50)、収益(△15→△41)はともに減少幅が極端に拡大した。販売価格(8→16)は上昇傾向がかなり強まり、仕入価格(62→51)は上昇傾向がかなり弱まった。資金繰り(△23→△19)は厳しさがやや和らいだ。

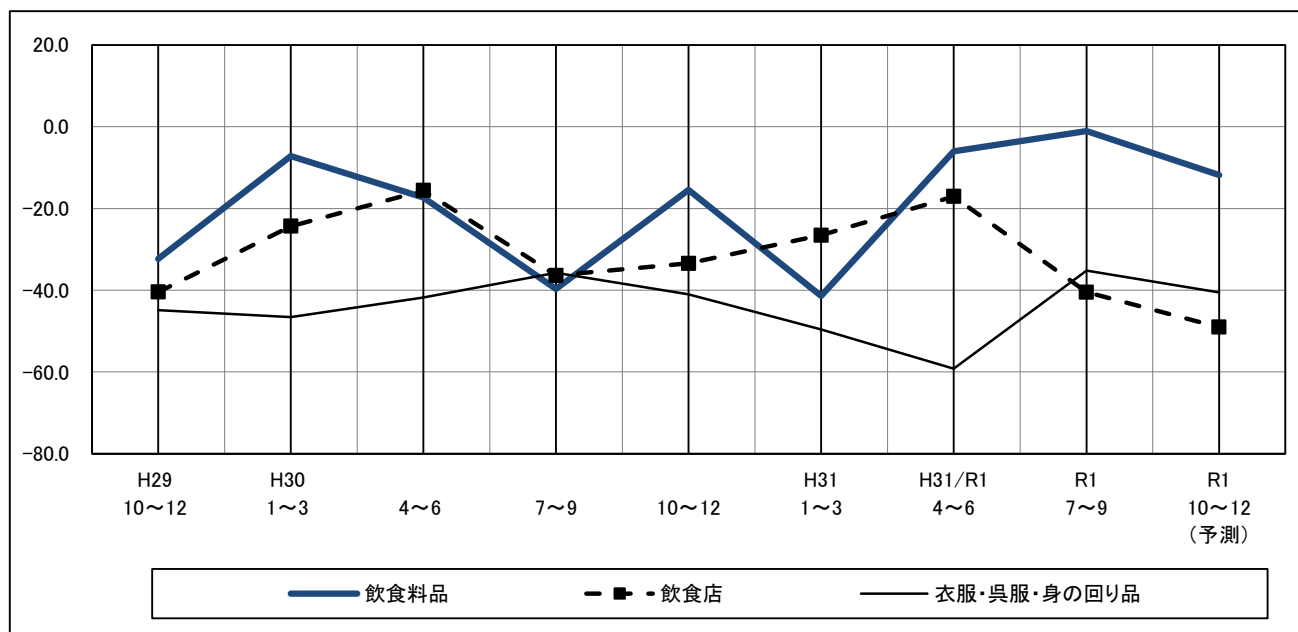
来期の業況は低調感がかなり強まると予想されている。

(3) 衣服・呉服・身の回り品

業況(△59→△35)は極端に改善した。売上額(△44→△37)、収益(△54→△41)はともに減少幅がかなり縮小した。販売価格(△20→△10)は下降傾向がかなり弱まり、仕入価格(14→19)は上昇傾向がやや強まった。資金繰り(△41→△25)は厳しさがかなり和らいだ。

来期の業況は低調感がかなり強まると予想されている。

〈小売業〉業種中分類別の業況の動き(実績)と来期の予測



小売業 業種別コメント

＜飲食料品＞

1. 売上が減少している。販促に力を入れる様にしたい。
2. 今期は新規事業を開始し、とりあえず順調。既存事業については近くにライバル店が出店予定であり、続行していけるか不安。
3. 差別化できるアイテムが増えた事で来店者増に繋がっている。

＜飲食店＞

1. 商店街の集客力が低下し、来客数が減っている。
2. 会社関連の懇親会等の飲食が減少したため、売上が伸びず。
3. 仕入の値上がりや、消費税 10%への対応が大変です。
4. 経費削減に努めているが、材料費や仕入費用が値上がりしている。
5. 人手不足により、採用に力を入れているが、難しい。
6. 常連の継続利用と新規増加による売上増。
7. 物流費の高騰、人件費の増大で利幅が取れなくなっている。

＜衣服・呉服・身の回り品＞

1. 今の時代、衣料にかける人が少ない。必要以上にお金をかけない人が多い。
2. 消費者の買い控えが顕著。老後 2,000 万円問題などにより、節約志向が拡大している。
3. 固定客の高齢化による来店者の減少。魅力のある高額品が見当たらない。斬新な商品に乏しい。
4. 年金問題に対してのこれからの不安。増税に対する支出の引き締め。
5. 売上は増えているが、競争激化のため、値引き競争に巻き込まれ、売上利益が減少している。
6. 定番商品の仕入れ価格が上昇し、値上げせざるを得ないうえ、消費税増税も重なり、更なる経営難に陥ってしまう。

サービス業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況(△8→△10)は低調感がやや強まった。売上額(△3→△38)、収益(△11→△34)はともに減少幅が極端に拡大した。

なお、全都と比較した当区の業況は2ポイント上回っている。

価格・在庫動向

料金価格(1→△2)は上昇から下降に転じ、材料価格(28→28)は前期並となった。

資金繰り・借入金動向

資金繰り(△10→△13)は厳しさがやや増し、借入難易度(△6→△3)はやや改善した。今期借入れをした企業は22%で前期の20%から2ポイント増加した。

経営上の問題点・重点経営施策

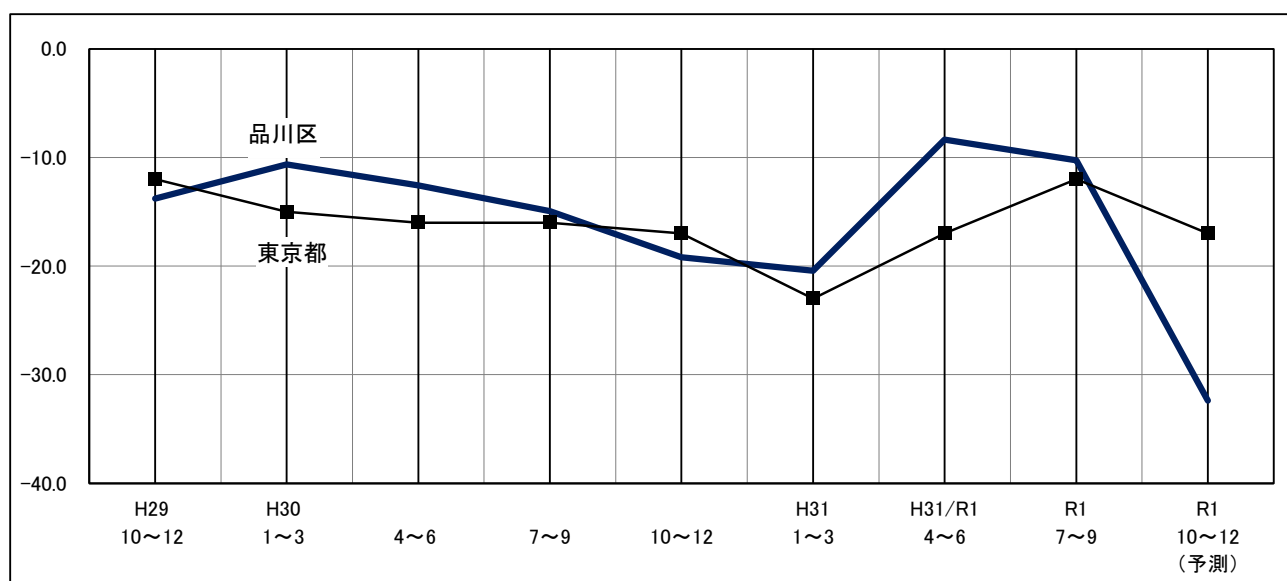
経営上の問題点は、1位は「人手不足」が50%、2位は「売上の停滞・減少」が43%、3位は「人件費の増加」が25%となった。前期と比べ、上位3項目に変動はなかった。

重点経営施策は、1位は「人材を確保する」が46%、2位は「経費を削減する」が43%、3位は「販路を広げる」が36%であった。前期2位だった「販路を広げる」は今期3位と順位を下げ、前期3位だった「経費を削減する」が、今期2位となり順位を上げた。

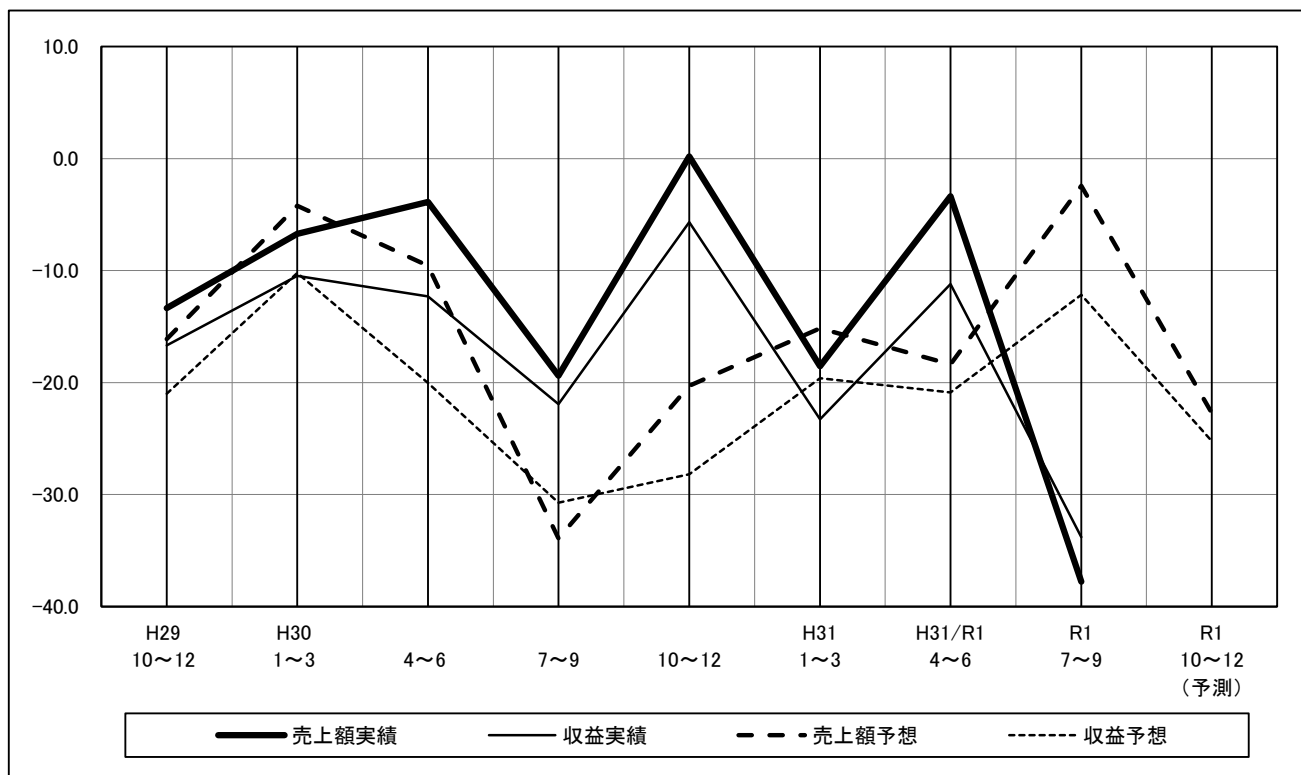
来期の見通し

業況(△10→△32)は低調感が極端に強まる見込み。売上額、収益はともに減少幅がかなり縮小すると予想されている。

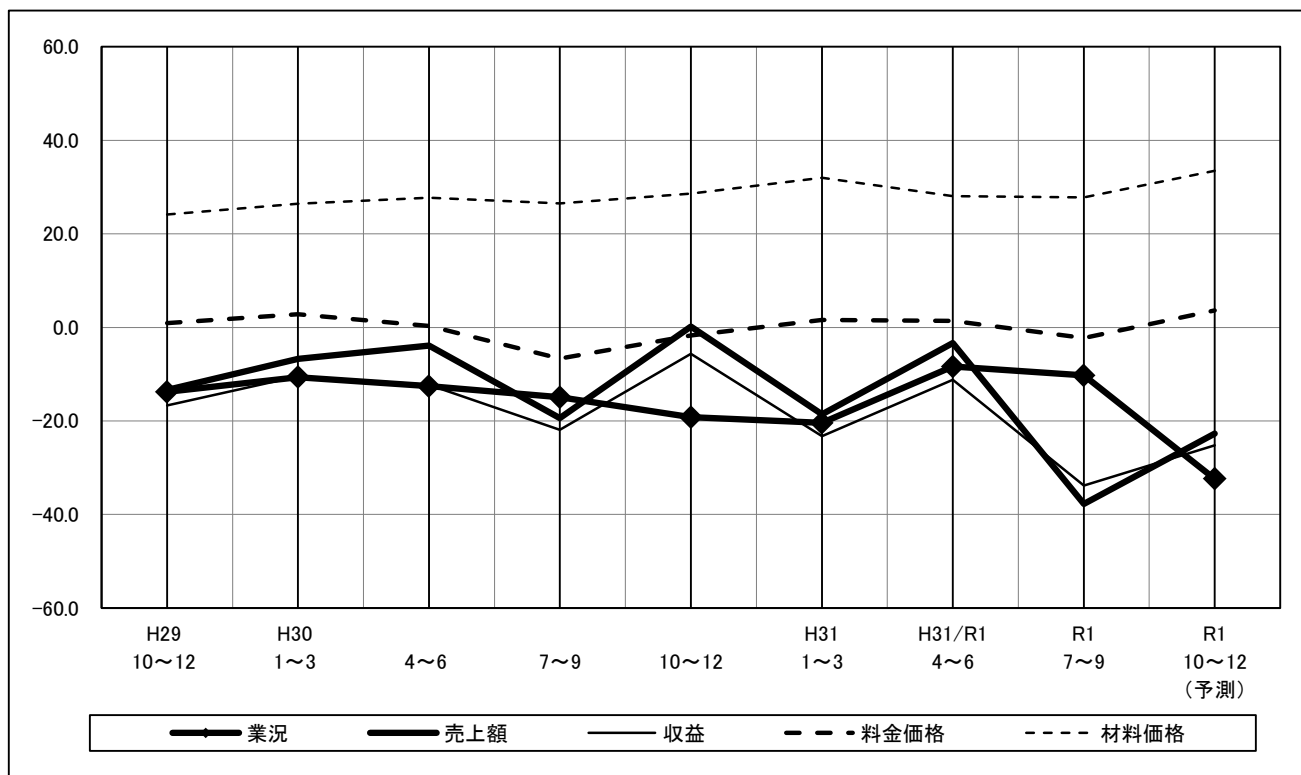
〈サービス業〉品川区と東京都の業況の動き(実績)と来期の予測



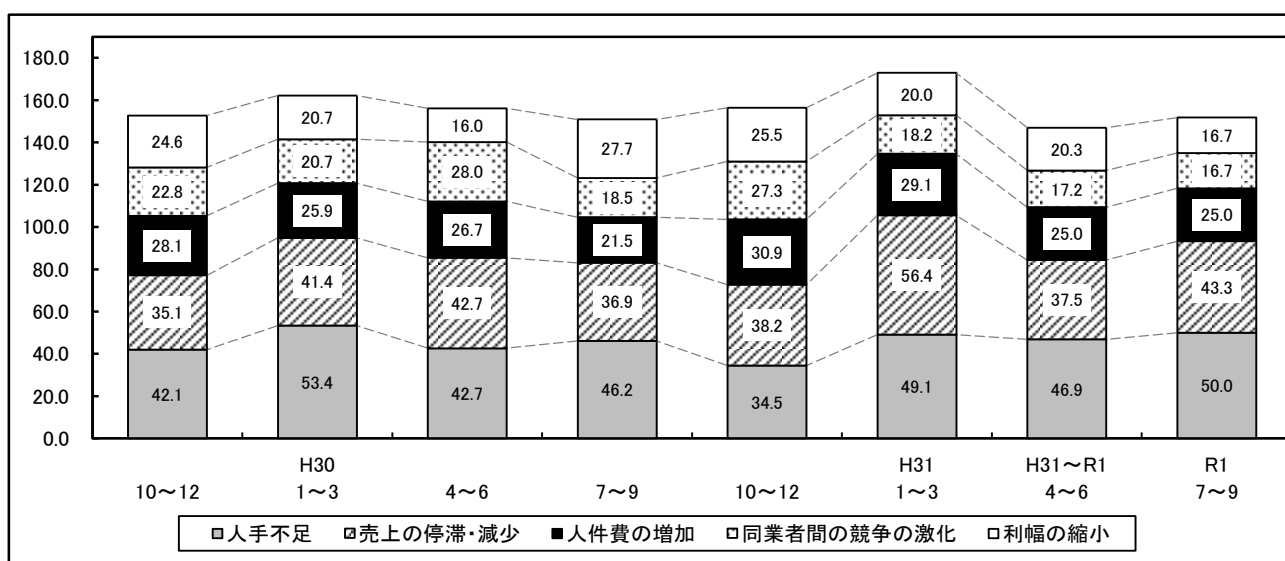
〈サービス業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



〈サービス業〉 業況と売上額、収益、料金価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測

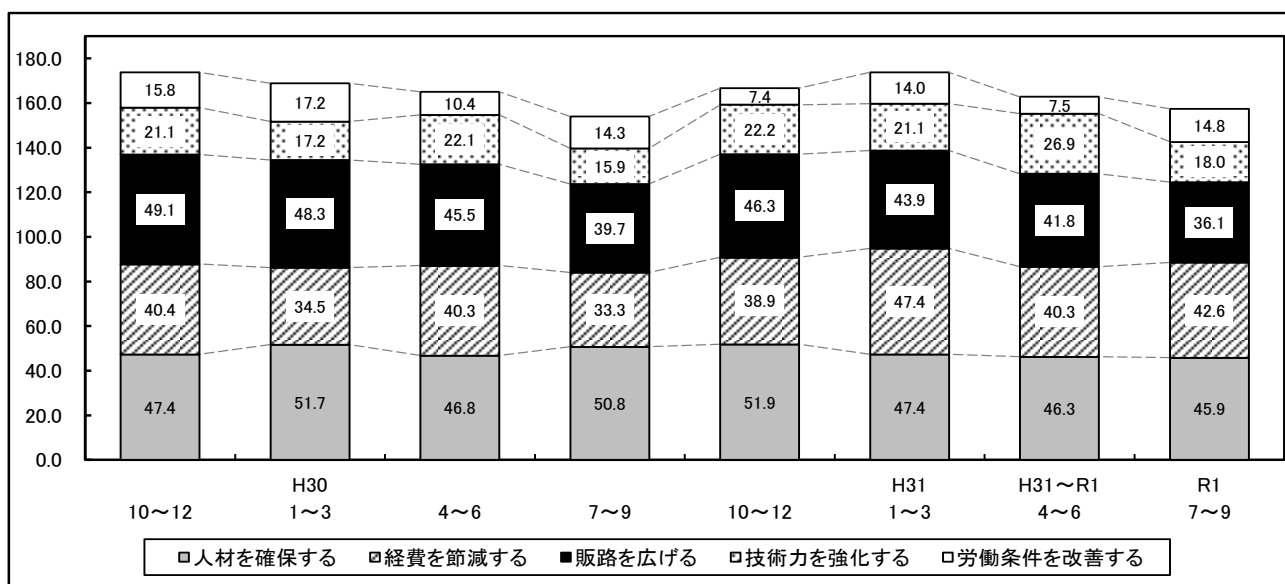


〈サービス業〉 経営上の問題点 (%)



	H30. 10~12月期		H31. 1~3月期		H31. 4~R1. 6月期		R1. 7~9月期	
第1位	売上の停滞・減少	38.2 %	売上の停滞・減少	56.4 %	人手不足	46.9 %	人手不足	50.0 %
第2位	人手不足	34.5 %	人手不足	49.1 %	売上の停滞・減少	37.5 %	売上の停滞・減少	43.3 %
第3位	人件費の増加	30.9 %	人件費の増加	29.1 %	人件費の増加	25.0 %	人件費の増加	25.0 %
第4位	同業者間の競争の激化	27.3 %	利幅の縮小	20.0 %	利幅の縮小	20.3 %	同業者間の競争の激化	16.7 %
第5位	利幅の縮小	25.5 %	同業者間の競争の激化	18.2 %	同業者間の競争の激化	17.2 %	材料価格の上昇 人件費以外の経費の増加	15.0 %

〈サービス業〉 重点経営施策 (%)



	H30. 10~12月期		H31. 1~3月期		H31. 4~R1. 6月期		R1. 7~9月期	
第1位	人材を確保する	51.9 %	経費を節減する 人材を確保する	47.4 % 47.4 %	人材を確保する	46.3 %	人材を確保する	45.9 %
第2位	販路を広げる	46.3 %	販路を広げる	43.9 %	販路を広げる	41.8 %	経費を節減する	42.6 %
第3位	経費を節減する	38.9 %	技術力を強化する	21.1 %	経費を節減する	40.3 %	販路を広げる	36.1 %
第4位	技術力を強化する	22.2 %	新しい事業を始める 教育訓練を強化する	15.8 % 15.8 %	技術力を強化する	26.9 %	技術力を強化する	18.0 %
第5位	新しい事業を始める	13.0 %	労働条件を改善する	14.0 %	宣伝・広告を強化する	17.9 %	労働条件を改善する	14.8 %

サービス業 業種別コメント

1. 経費削減に努めているが、材料費や仕入れ費用が値上がりしている。
2. 人材が集まらない。
3. 新規事業による売上が拡大している部分がある。今後は新たな事業へのチャレンジを強化し、事業構造の構築に取り組む。
4. 仕事その物が減少している。
5. 人手不足の上、パート従業員は月 10 万円の稼ぎで抑えたい人が多く、仕方なく休日を増やしたり、休憩時間を入れたりしているせいか、そんな体制をとっている店舗は多少売上がダウンしている。
6. 経費削減に努めていても、人件費が上がって、材料費も上がり苦しい。物価の上昇に対して、顧客は増えていない。
7. 人手不足であり、働き改革への対応が難しい。
8. 事務等受託業務の予算が圧縮されており、減収減益傾向が続いている。
9. 経営は安定しているが、中期的には停滞とも捉えられるので販路を広げたい。
10. 媒体を使っての求人を募っているが、効果が出てこない。
11. 新規の顧客獲得が難しい。
12. 店舗機材の老朽化を改善したいのだが売上の停滞によりなかなか実行に踏み切れない。
13. 今期は何とか売上収益確保ができた。
14. 人材不足、有給等、経費の増加による経営の圧迫。
15. 米国と中国間の経済摩擦の影響で市況が著しく落ち込み、中小企業者の経営運営に関係なく、収益の減少に苦しんでいる。
16. ホテル等の建築物の増加に伴い、業務の引き合いは多数あるが、人件費の高騰や、人材の確保がままならず、思うように仕事をとれない。また、外国人等の人材に関しては、条件面が折り合わなく、雇用が難しい。特に技術研修生等。
17. 求人費用かけるが応募少ない、人手不足。
18. 人手不足のため 2 店舗から 1 店舗に縮小したので、売上が減少した。人材を育てるのが大変。
19. 外国人（米国）のツアーが無くなり、個人相手が多く売上にならない。

建設業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況(△10→△11)はほぼ前期並となった。売上額(△11→△19)、施工高(△7→△26)、収益(△24→△31)はいずれも減少幅がかなり拡大した。

価格・在庫動向

請負価格(△10→△16)は下降傾向がかなり強まり、材料価格(46→47)はほぼ前期並となった。在庫(△2→△2)は前期並となった。

資金繰り・借入金動向

資金繰り(△11→△7)は厳しさがやや和らぎ、借入難易度(△1→7)は好転した。今期借入れをした企業は26%で前期の30%から4ポイント減少した。

経営上の問題点・重点経営施策

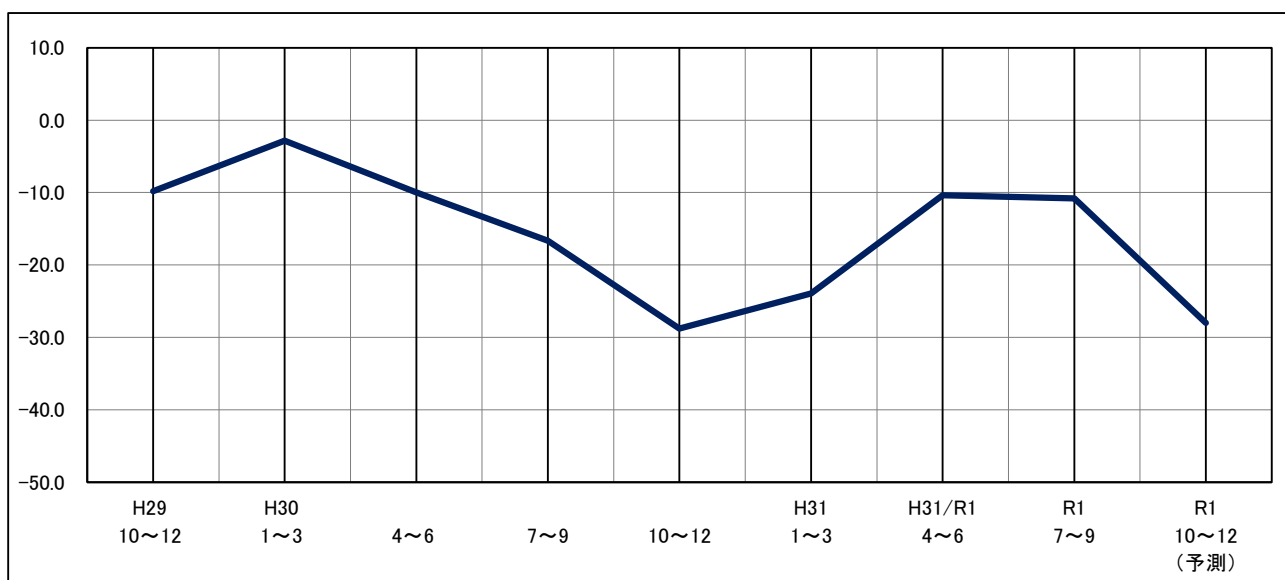
経営上の問題点は、1位は「人手不足」が43%、2位は「売上の停滞・減少」が34%、3位は「利幅の縮小」が30%となった。前期4位だった「利幅の縮小」は、今期3位と順位を上げ、前期3位だった「下請の確保難」は今期4位となった。

重点経営施策は、1位は「人材を確保する」が54%、2位は「販路を広げる」および「技術力を高める」が同率で37%、3位は「経費を節減する」が31%となった。前期4位だった「販路を広げる」と、前期3位だった「技術力を高める」は今期同率2位と順位を上げた。

来期の見通し

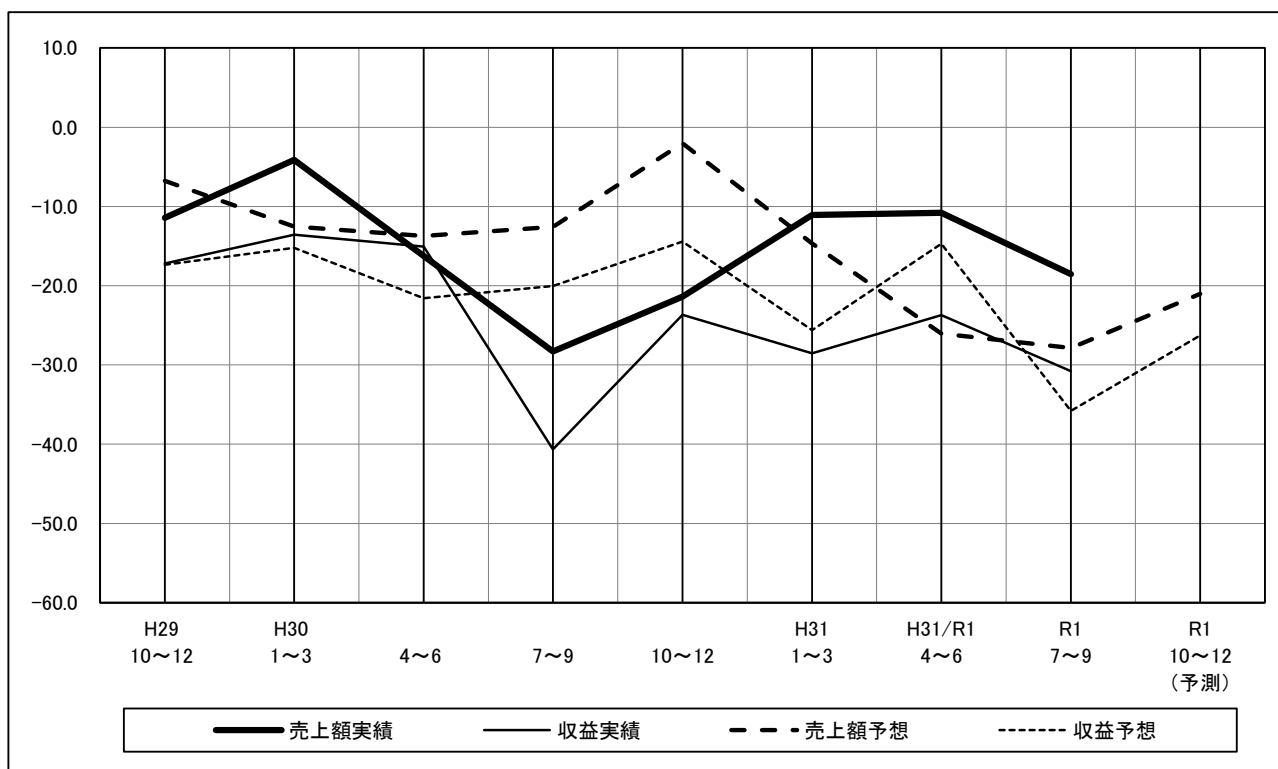
業況(△11→△28)は低調感がかなり強まる見込み。売上額は減少幅がやや拡大し、収益は減少幅がやや縮小すると予想されている。

〈建設業〉 品川区の業況の動き（実績）と来期の予測

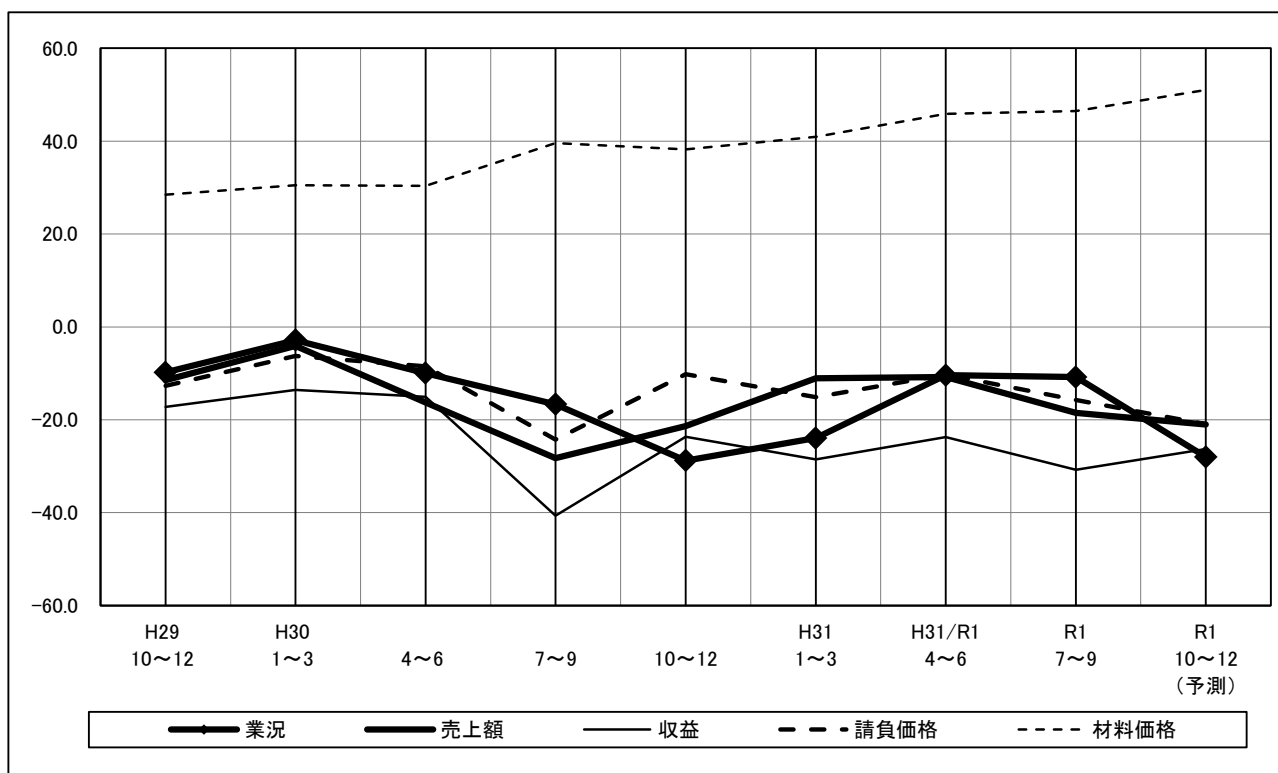


※ 東京都の景況調査では建設業の調査は実施されていないため、全都の建設業の業況は表示していない。

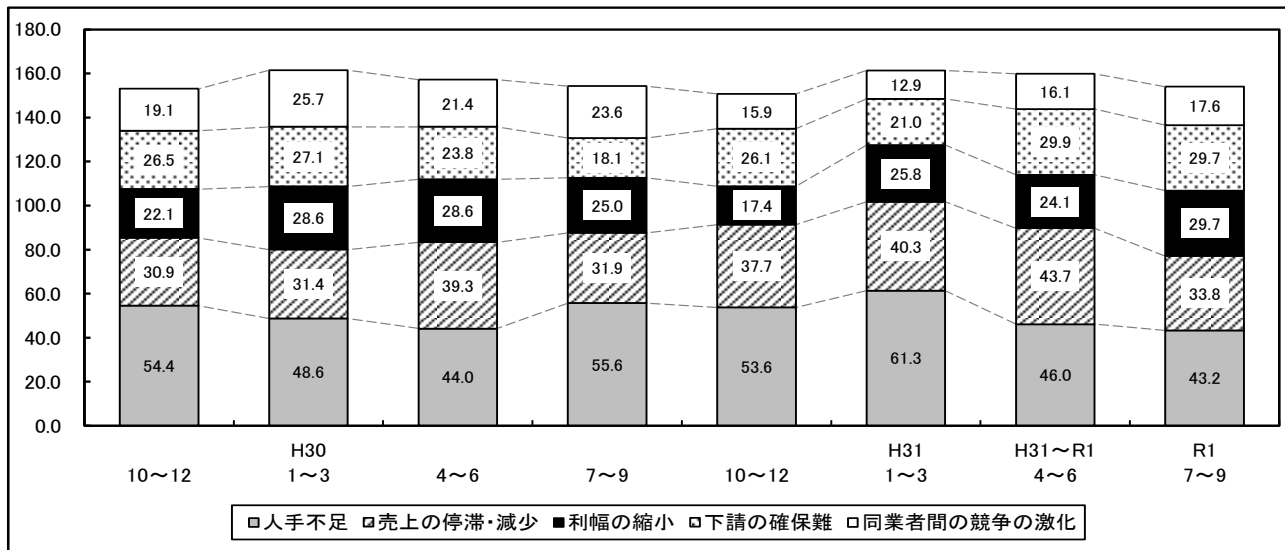
〈建設業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



〈建設業〉 業況と売上額、収益、請負価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測

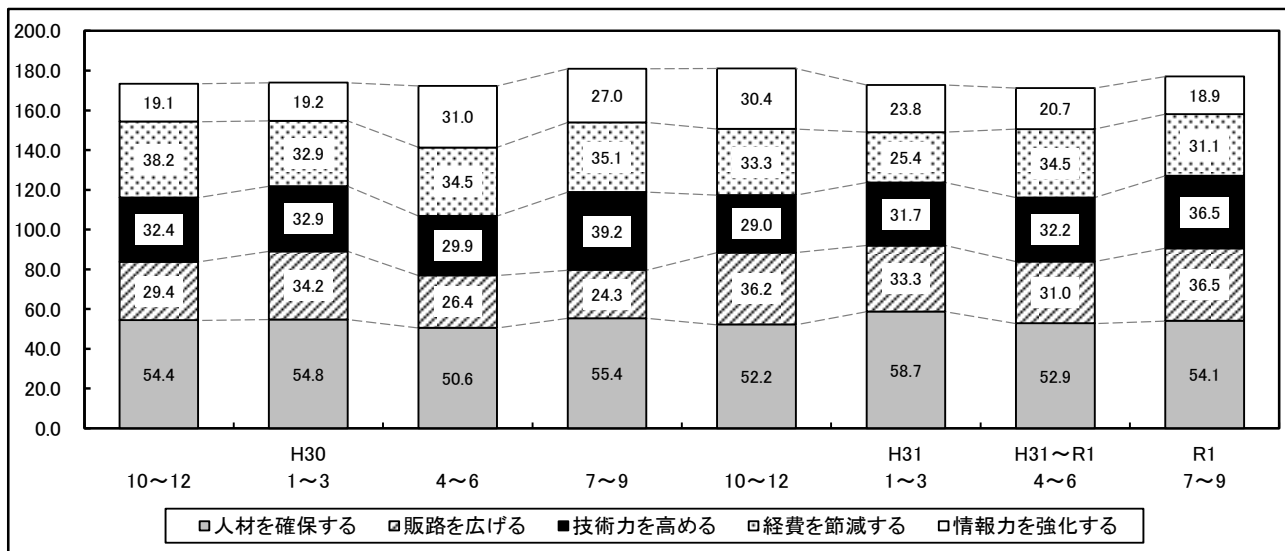


〈建設業〉 経営上の問題点（％）



	H30. 10～12月期		H31. 1～3月期		H31. 4～R1. 6月期		R1. 7～9月期	
第1位	人手不足	53.6 %	人手不足	61.3 %	人手不足	46.0 %	人手不足	43.2 %
第2位	売上の停滞・減少	37.7 %	売上の停滞・減少	40.3 %	売上の停滞・減少	43.7 %	売上の停滞・減少	33.8 %
第3位	下請の確保難	26.1 %	材料価格の上昇	27.4 %	下請の確保難	29.9 %	利幅の縮小	29.7 %
第4位	人件費の増加	24.6 %	利幅の縮小	25.8 %	利幅の縮小	24.1 %	下請の確保難	29.7 %
第5位	利幅の縮小	17.4 %	下請の確保難	21.0 %	人件費の増加	20.7 %	同業者間の競争の激化	17.6 %

〈建設業〉 重点経営施策（％）



	H30. 10～12月期		H31. 1～3月期		H31. 4～R1. 6月期		R1. 7～9月期	
第1位	人材を確保する	52.2 %	人材を確保する	58.7 %	人材を確保する	52.9 %	人材を確保する	54.1 %
第2位	販路を広げる	36.2 %	販路を広げる	33.3 %	経費を節減する	34.5 %	販路を広げる	36.5 %
							技術力を高める	36.5 %
第3位	経費を節減する	33.3 %	技術力を高める	31.7 %	技術力を高める	32.2 %	経費を節減する	31.1 %
第4位	情報力を強化する	30.4 %	経費を節減する	25.4 %	販路を広げる	31.0 %	情報力を強化する	18.9 %
第5位	技術力を高める	29.0 %	情報力を強化する	23.8 %	情報力を強化する	20.7 %	労働条件を改善する	17.6 %

建設業 業種別コメント

1. 10月以降が不透明で先が不安。
2. 業種業界の先行が不透明。
3. 人手不足、新規採用も応募なし。
4. 売上が減少傾向にある。
5. 人材を他社に取られている。
6. 需要が減少している。
7. 来年7月～8月（オリンピック、パラリンピック）の流通や現場の施工条件が見通しつかないので対策の見通し。
8. 少しではあるが増益がある。
9. 人手不足のため受注ができない。
10. 弊社の近況は売上減少である。要因としては天候不順や景気の先行きの不安がいまだに根強くある。消費増税の駆け込み需要を期待していたが、その様な需要はまったくなかった。同業他社に聞いても同じ答えが返ってきた。
11. 昔からの顧客を中心に仕事を続けていく。会社の規模を縮小したので、新たに販路を広げることは無い。
12. 関係業種すべてが人手不足のため、作業効率が著しく低下している。
13. 受注が不安定で設備投資や人材確保が出来ない。
14. 人材の確保が一番困っている。
15. 大企業の進出により売上は減少傾向。
16. 今年度は良いが、来年度の予想が出来ない。
17. 受注増ではあるが、人手確保のため、人件費が増加し利幅縮小となっている。
18. 採用ができず人手不足になっている。また、未経験者を採用するも1～2か月で辞めてしまい、育成が難しい。
19. 仕事の仕様が細かく、現地調査をしないとわからない内容があるため、対応が大変。様々なことに対応できるようになり販路は拡大されたものの、人手が足りない。
20. 建設業者が高齢化しており、下請業者の数も減っている。
21. 今までの実績を考慮せず、価格のみの競争・業者選択となった状況が、根底から改善していない。
22. 来年のオリンピックに向け、現場の受注はあるが、利益が向上しない。
23. 人手不足。人員の確保。
24. 先々の受注確保が出来ず、場当たり受注になっているため、資金繰りに不安要素がつきまとっている。
25. 受注は増えているが、人手不足。
26. 人材が集まらない。
27. 売上は計画通りだが、利益確保が問題。資金繰りに苦慮している。
28. 後継者問題がある。売上は減少傾向にあり、策を練っている。
29. 工事の引き合いは増加している。
30. 仕事量は増えているが、利益は減少している。
31. 受注が減少している。
32. 大企業の進出により売上は減少傾向である。
33. 若い人材が不足している。
34. 公的機関からの発注が建築工事ばかりで、売上は減少している。
35. 好調な景況は続くと予想している。職方の確保ができれば売上は上がるが、人手不足。
36. 人手不足のため、受注に対応できないうえ、社員の労働条件を改善できない。
37. 受注は変わらずにあるが人手不足、外注不足でこなせない。
38. 人材不足は深刻である。

日銀短観

[調査対象企業数]

(2019年9月調査)

	製造業	非製造業	合計	回答率
全国企業	4,004社	5,715社	9,719社	99.5%
うち大企業	1,000社	910社	1,910社	99.6%
中堅企業	1,037社	1,683社	2,720社	99.6%
中小企業	1,967社	3,122社	5,089社	99.4%
金融機関	—	—	207社	99.0%

(参考)事業計画の前提となっている想定為替レート(大企業・製造業) (円/ドル)

	2018年度		2019年度	
	上期	下期	上期	下期
2019年6月調査	110.33	109.64	110.98	109.35
2019年9月調査	—	—	—	108.68

[業況判断]

(「良い」－「悪い」・%ポイント)

	2019年6月調査		2019年9月調査			
	最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
大企業						
製造業	7	7	5	-2	2	-3
非製造業	23	17	21	-2	15	-6
全産業	15	12	13	-2	8	-5
中堅企業						
製造業	5	0	2	-3	-1	-3
非製造業	18	11	18	0	9	-9
全産業	13	6	12	-1	5	-7
中小企業						
製造業	-1	-5	-4	-3	-9	-5
非製造業	10	3	10	0	1	-9
全産業	6	-1	5	-1	-3	-8
全規模合計						
製造業	3	-1	-1	-4	-4	-3
非製造業	14	8	14	0	6	-8
全産業	10	4	8	-2	2	-6

[売上高・収益計画]

(前年度比・%)

		2018年度		2019年度	
			修正率	(計画)	修正率
大企業	製造業	2.9	—	0.4	-0.6
	国内	2.2	—	0.8	-0.4
	輸出	4.3	—	-0.3	-1.0
	非製造業	2.0	—	0.9	-0.7
	全産業	2.3	—	0.7	-0.7
中堅企業	製造業	3.9	—	0.8	-0.6
	非製造業	3.1	—	2.6	-0.3
	全産業	3.3	—	2.2	-0.4
中小企業	製造業	2.4	—	-1.5	-1.0
	非製造業	2.1	—	-0.2	0.3
	全産業	2.2	—	-0.5	0.0
全規模合計	製造業	2.9	—	0.1	-0.7
	非製造業	2.3	—	1.0	-0.3
	全産業	2.5	—	0.7	-0.4

(注) 修正率・幅は、前回調査との対比。

[需給・在庫・価格判断]

(%ポイント)

		2019年6月調査		2019年9月調査			
		最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
国内での製造業・サービス需給判断 (「需要超過」－「供給超過」)	製造業	-20	-21	-23	-3	-24	-1
	うち素材業種	-26	-27	-29	-3	-30	-1
	加工業種	-15	-19	-18	-3	-20	-2
	非製造業	-12	-15	-11	1	-16	-5
海外での製造業需給判断 (「需要超過」－「供給超過」)	製造業	-12	-13	-16	-4	-17	-1
	うち素材業種	-18	-17	-23	-5	-23	0
	加工業種	-9	-10	-13	-4	-14	-1
	非製造業	—	—	—	—	—	—
製成品在庫水準判断 (「過大」－「不足」)	製造業	15	—	17	2	—	—
	うち素材業種	17	—	18	1	—	—
	加工業種	13	—	17	4	—	—
	非製造業	—	—	—	—	—	—
製商品流通在庫水準判断 (「過大」－「不足」)	製造業	17	—	18	1	—	—
	うち素材業種	22	—	24	2	—	—
	加工業種	14	—	14	0	—	—
	非製造業	—	—	—	—	—	—
販売価格判断 (「上昇」－「下落」)	製造業	1	0	-2	-3	-2	0
	うち素材業種	5	5	0	-5	0	0
	加工業種	-2	-3	-4	-2	-4	0
	非製造業	3	3	2	-1	3	1
仕入価格判断 (「上昇」－「下落」)	製造業	32	35	26	-6	30	4
	うち素材業種	31	36	20	-11	27	7
	加工業種	33	36	30	-3	32	2
	非製造業	26	29	22	-4	28	6

東京都と品川区の企業倒産動向（令和元年9月）

1. 東京都の倒産概況

(単位: 件・億円)

	平成30年9月	令和元年8月	令和元年9月	前月比	前年同月比
件数	145	116	142	26	-3
金額	1,308	183	498	315	-810

2. 原因別倒産動向

(単位: 件・億円)

放漫経営		過小資本		他社倒産の余波		既住のしわ寄せ		販売不振	
24	72	9	83	14	4	26	53	331	417
売掛金回収難		信用性低下		在庫状態悪化		設備投資過大		その他	
4	201	1	2	0	0	1	3	6	7

3. 業種別倒産動向

(単位: 件・億円)

	件数			金額		
	前年同月	前月	当月	前年同月	前月	当月
製造業	34	37	41	155	67	128
卸売業	78	62	82	160	128	385
小売業	45	50	53	1,029	149	91
サービス業	74	84	76	139	346	54
建設業	56	43	51	62	32	46
不動産業	14	16	11	14	18	46
情報通信業・運輸業	51	48	53	56	41	28
宿泊業・飲食サービス業	39	25	34	12	10	16
その他	17	19	15	20	37	48
合計	408	384	416	1,651	831	845

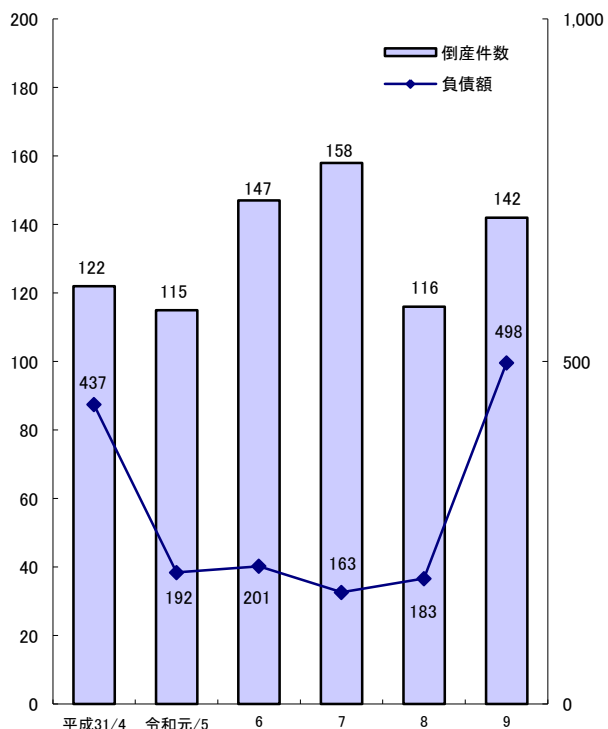
4. 品川区内の令和元年9月の倒産動向

業種	件数	負債総額
製造業	1件	46百万円
卸売業	1件	200百万円
小売業	0件	0百万円
サービス業	1件	10百万円
建設業	0件	0百万円
不動産業	0件	0百万円
情報通信業・運輸業	0件	0百万円
宿泊業・飲食サービス業	0件	0百万円
その他	0件	0百万円
合計	3件	256百万円

(件数)

東京都の倒産概況

(億円)



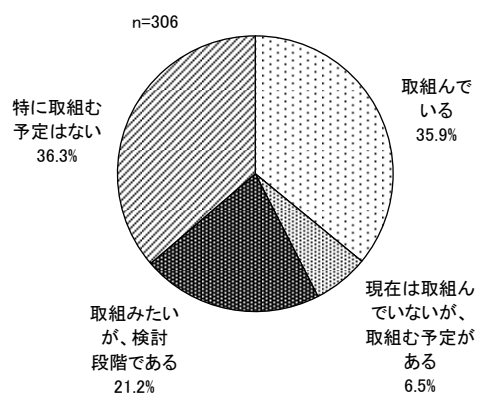
特別調査「省力化・効率化の取組について」

- ① 省力化・効率化の取組状況は、「取組んでいる」、「現在は取組んでいないが、取組む予定がある」、「取組みたいが、検討段階である」が合わせて 63.6%となった。
- ② 省力化・効率化に関する取組内容は、「不要な作業・工程の見直し」が 63.2%で最多
- ③ IT 技術などの導入・取組状況は、「興味はあるが、検討段階である」が 42.8%で最多
なお、「導入している」は 17.4%
- ④ IT 技術などに求める効果については、「コストの削減」が 58.4%で最多
- ⑤ 省力化・効率化にあたっての課題は、「実施するための人材がいない」が 37.6%で最多

問1. 省力化・効率化の取組状況

省力化・効率化の取組状況について、全体では「取組んでいる」、「現在は取組んでいないが、取組む予定がある」、「取組みたいが、検討段階である」が合わせて 63.6%となった。

業種別にみると、「取組んでいる」と回答した割合は製造業が最も多く、卸売業および小売業では、「特に取組む予定はない」の回答が 4 割以上を占めている。



(単位: %)

	取組んでいる	現在は取組んでいないが、取組む予定がある	取組みたいが、検討段階である	特に取組む予定はない
全 体 (306) 件	35.9	6.5	21.2	36.3
製 造 業 (73) 件	43.8	8.2	16.4	31.5
卸 売 業 (67) 件	37.3	3.0	16.4	43.3
小 売 業 (33) 件	33.3	0.0	24.2	42.4
サービス業 (59) 件	33.9	8.5	23.7	33.9
建 設 業 (74) 件	29.7	9.5	27.0	33.8

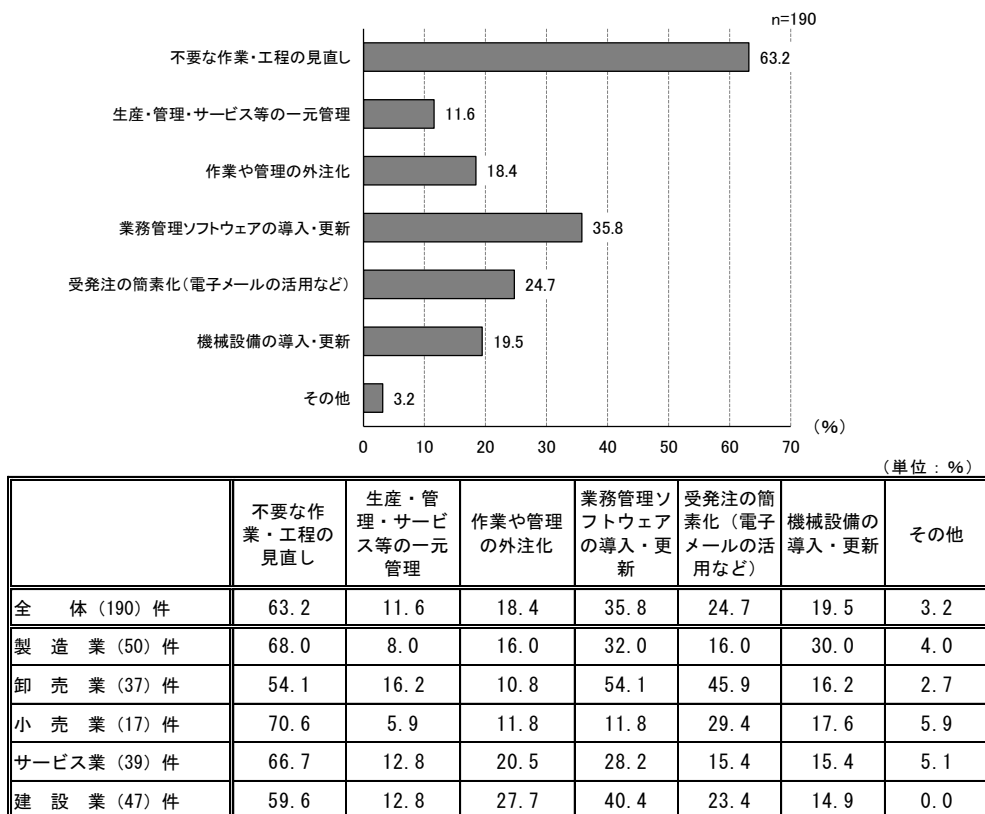
※図表中の構成比は、小数点第 2 位以下を四捨五入している。

そのため、合計した値が 100%にならない場合がある（他設問についても同様）。

問2. 省力化・効率化に関する取組内容

省力化・効率化に関する取組内容について、全体では「不要な作業・工程の見直し」が63.2%と最も多く、次いで、「業務管理ソフトウェアの導入・更新」が35.8%、「受発注の簡素化（電子メールの活用など）」が24.7%となった。

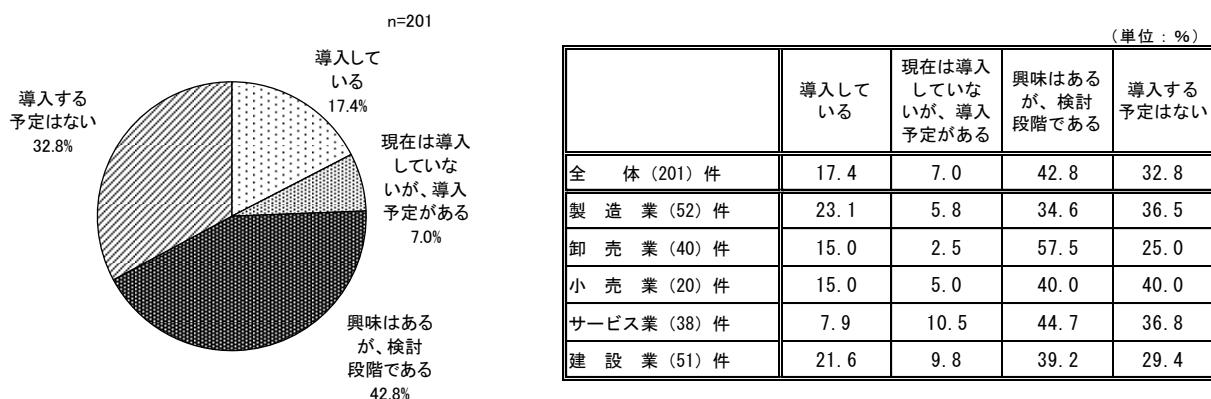
業種別にみると、卸売業では「業務管理ソフトウェアの導入・更新」の割合が高く、「不要な作業・工程の見直し」と同率1位の54.1%となっている。また、「受発注の簡素化（電子メールの活用など）」についても45.9%と、他業種と比べ割合が高くなっている。



問3. IT 技術などの導入・取組状況

IT 技術などの導入・取組状況について、「興味はあるが、検討段階である」が42.8%と最も多く、次いで「導入する予定はない」が32.8%、「導入している」が17.4%と続いた。

業種別にみると、製造業および建設業での「導入している」との回答割合が他業種と比べやや高くなっている。また、卸売業において「導入する予定はない」の回答割合が25.0%と低い一方、「興味はあるが、検討段階である」との回答が5割以上と高くなっており、関心はあるものの実際の導入には踏み出せていない状況が読み取れる。

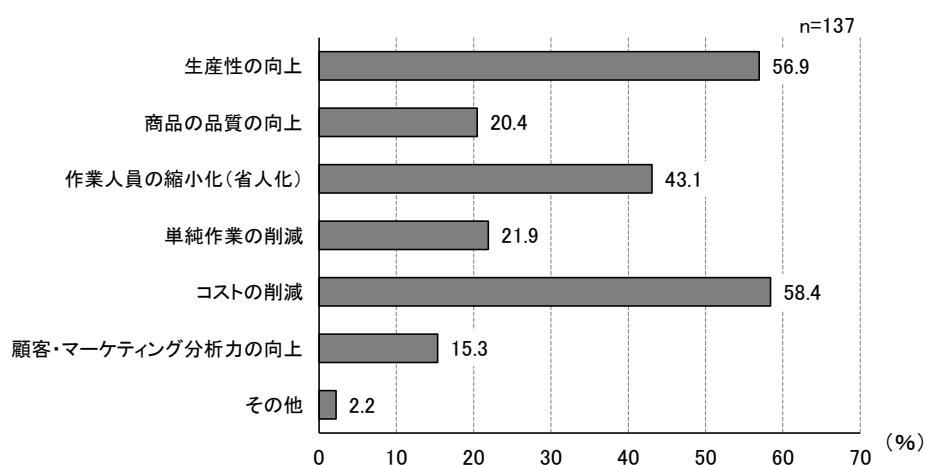


問4. IT 技術などに求める効果

IT 技術などに求める効果について、「コストの削減」が 58.4%と最も多く、次いで「生産性の向上」が 56.9%、「作業人員の縮小（省人化）」が 43.1%と続いた。

業種別にみると、製造業、サービス業および建設業では「生産性の向上」が最も高くなっており、特に製造業では回答の 8 割近くとなった。なお、製造業では「商品の品質の向上」の回答割合も 5 割近くと、他業種に比べ高くなっている。

卸売業および小売業では「単純作業の削減」の回答割合もともに 4 割以上と、他業種に比べ高くなっており、ルーティン作業や事務的作業などに関する負担の削減が課題となっていることがうかがえる。特に卸売業では、「コストの削減」と回答した企業が 8 割にのぼっており、他業種と比較しても回答割合が非常に高くなっている。



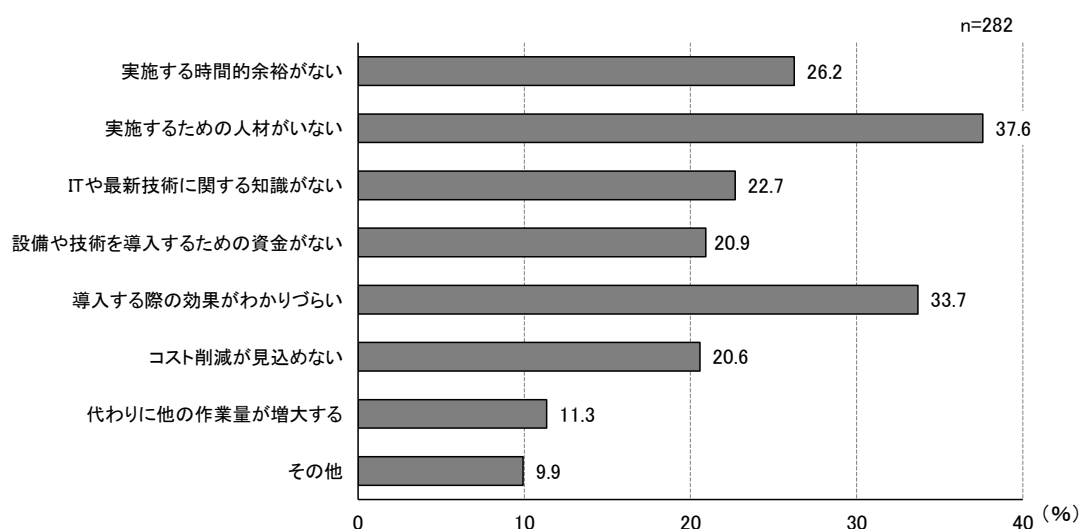
(単位：%)

	生産性の向上	商品の品質の向上	作業人員の縮小化(省人化)	単純作業の削減	コストの削減	顧客・マーケティング分析力の向上	その他
全 体 (137) 件	56.9	20.4	43.1	21.9	58.4	15.3	2.2
製 造 業 (34) 件	79.4	47.1	50.0	8.8	64.7	2.9	2.9
卸 売 業 (30) 件	50.0	6.7	43.3	40.0	80.0	23.3	0.0
小 売 業 (12) 件	41.7	8.3	33.3	41.7	50.0	33.3	0.0
サービス業 (25) 件	48.0	12.0	36.0	28.0	44.0	24.0	4.0
建 設 業 (36) 件	52.8	16.7	44.4	8.3	47.2	8.3	2.8

問5. 省力化・効率化にあたっての課題

省力化・効率化にあたっての課題について、「実施するための人材がない」が 37.6%と最も多く、次いで「導入する際の効果がわかりづらい」が 33.7%、「実施する時間的余裕がない」が 26.2%と続いた。

業種別にみると、小売業および建設業では「実施するための人材がない」と並んで「導入する際の効果がわかりづらい」が同率 1 位となっている。製造業では「設備や技術を導入するための資金がない」が 3 割程度となっており、他業種に比べ高くなっている。



(単位：%)

	実施する時間的余裕がない	実施するための人材がない	ITや最新技術に関する知識がない	設備や技術を導入するための資金がない	導入する際の効果がわかりづらい	コスト削減が見込めない	代わりに他の作業量が増大する	その他
全 体 (282) 件	26.2	37.6	22.7	20.9	33.7	20.6	11.3	9.9
製 造 業 (69) 件	24.6	34.8	27.5	30.4	31.9	20.3	8.7	10.1
卸 売 業 (64) 件	28.1	35.9	25.0	9.4	34.4	18.8	18.8	14.1
小 売 業 (31) 件	29.0	38.7	22.6	22.6	38.7	12.9	12.9	3.2
サービス業 (52) 件	30.8	46.2	17.3	25.0	30.8	23.1	13.5	9.6
建 設 業 (66) 件	21.2	34.8	19.7	18.2	34.8	24.2	4.5	9.1

中小企業景況調査 比較表・転記表

製造業

品川区 中小企業景況調査 比較表

令和元年7月～9月期

[今期の景況]

		全体	電気機械器具	一般機械器具・金型	出版・印刷・同関連産業	金属製品・建設用金属製品・プレスメッキ	プラスチック製品
業況		-43	-31	-25	-56	-68	-29
売上額		-39	-41	-27	-16	-81	3
受注残		-40	-44	-32	-14	-69	-18
収益		-49	-36	-55	-15	-86	-27
販売価格		-12	-6	11	-18	-43	-2
原材料価格		32	44	19	35	24	47
原材料在庫		18	51	4	5	17	-2
資金繰り		-25	-3	-40	-15	-46	-13
雇用	残業時間	-24	-21	-24	-42	-25	-10
	人手	-16	-22	-12	8	-31	-18
同期比	売上額	-30	0	12	-33	-56	-60
	収益	-38	-28	-6	-67	-63	-40
経営上の問題点	①売上の停滞・減少	65	68	44	75	80	60
	②利幅の縮小	17	32	13	25	7	0
	③同業者間の競争の激化	15	26	6	25	7	10
	④原材料高	18	16	13	0	27	40
	⑤販売納入先からの値下げ要請	7	0	6	17	13	0
重点経営施策	①販路を広げる	55	74	35	50	47	70
	②経費を節減する	48	42	47	42	47	70
	③新製品・技術を開発する	25	42	24	17	20	10
	④情報力を強化する	16	11	18	25	20	10
	⑤人材を確保する	37	37	53	33	40	10
借入の難易度		3	11	18	8	-31	9

[来期の景況見通し]

業況		-45	-29	-22	-45	-80	-60
売上額		-37	-45	-22	-23	-55	-29
受注残		-38	-58	-21	-25	-44	-25
収益		-37	-46	-15	-17	-63	-34
販売価格		-17	-10	1	-14	-45	-14
原材料価格		38	36	39	36	36	48
原材料在庫		20	34	2	15	20	10
資金繰り		-32	-13	-34	-47	-50	-20
雇用	残業時間	-4	-11	18	17	-25	-20
	人手	-19	-22	-18	-8	-25	-18

* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、前年同期比、借入難易度

* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

[今期の景況]

		全体	飲食料品	飲食店	衣服・呉服・身の回り品
業況		-30	-1	-41	-35
売上額		-46	-54	-50	-37
収益		-47	-61	-41	-41
販売価格		1	-5	16	-10
仕入価格		40	65	51	19
在庫		12	27	2	14
資金繰り		-19	-8	-19	-25
雇用	残業時間	-17	-17	-29	0
	人手	-31	-33	-59	8
同期比	売上額	-42	0	-41	-62
	収益	-50	0	-59	-62
	販売価格	-6	-33	0	0
経営上の問題点	①売上の停滞・減少	54	50	31	0
	②仕入先からの値上げ要請	17	17	31	0
	③人手不足	43	67	63	0
	④利幅の縮小	14	17	19	0
	⑤同業者間の競争の激化	20	33	13	0
重点経営施策	①経費を節減する	50	67	35	0
	②宣伝・広報を強化する	22	0	29	0
	③売れ筋商品を取扱う	31	17	29	0
	④人材を確保する	36	17	65	0
	⑤仕入先を開拓・選別する	19	17	6	0
借入の難易度		-3	20	-6	-8

[来期の景況見通し]

業況		-37	-12	-49	-41
売上額		-35	-18	-46	-35
収益		-40	-29	-41	-46
販売価格		12	-10	26	8
仕入価格		44	59	55	27
在庫		12	24	-3	20
資金繰り		-19	-10	-23	-17
雇用	残業時間	-3	-17	0	0
	人手	-36	-33	-65	0

* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、前年同期比、借入難易度

* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		H29		H30		H30		H30		H30		H31		H31～R1		R1		対	R1
項目		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		前期比	10～12月期
業況	良い	28.8	28.9	25.3	23.1	23.6	23.3	15.5	18.0	29.0	22.4	23.0	23.2	19.5	19.2	12.0	14.3		12.0
	普通	37.5	39.5	40.0	48.7	36.0	43.8	38.0	36.0	36.2	37.3	43.2	31.9	33.3	39.7	26.7	33.3		33.3
	悪い	33.8	31.6	34.7	28.2	40.4	32.9	46.5	46.1	34.8	40.3	33.8	44.9	47.1	41.1	61.3	52.4		54.7
	D・I	-5.0	-2.6	-9.3	-5.1	-16.9	-9.6	-31.0	-28.1	-5.8	-17.9	-10.8	-21.7	-27.6	-21.9	-49.3	-38.1		-42.7
	修正値	-10.1	-8.6	-24.4	-11.6	-12.5	-12.1	-25.7	-26.2	-10.6	-22.0	-19.9	-24.2	-24.1	-23.3	-43.1	-34.4	-19.0	-44.6
	傾向値	-29.3		-19.9		-14.9		-14.5		-15.6		-15.9		-17.5		-21.1			
売上額	増加	41.3	33.3	27.0	26.3	22.5	24.7	21.1	17.8	36.2	28.6	20.3	24.6	20.7	16.2	16.2	18.4		18.7
	変らず	28.8	37.3	35.1	50.0	30.3	34.2	39.4	41.1	29.0	34.3	44.6	24.6	26.4	41.9	23.0	31.0		30.7
	減少	30.0	29.3	37.8	23.8	47.2	41.1	39.4	41.1	34.8	37.1	35.1	50.7	52.9	41.9	60.8	50.6		50.7
	D・I	11.3	4.0	-10.8	2.5	-24.7	-16.4	-18.3	-23.3	1.4	-8.6	-14.9	-26.1	-32.2	-25.7	-44.6	-32.2		-32.0
	修正値	-3.5	-4.9	-24.0	-7.6	-13.5	-7.6	-11.5	-21.6	-11.8	-16.4	-22.3	-30.7	-20.7	-19.3	-38.8	-28.5	-18.0	-36.7
	傾向値	-18.4		-12.0		-10.8		-10.2		-11.9		-13.6		-15.0		-19.3			
受注残	増加	29.1	22.4	22.7	20.3	20.2	23.0	17.1	14.6	14.7	23.2	16.2	14.7	14.0	14.9	12.5	18.6		12.3
	変らず	39.2	46.1	46.7	53.2	41.6	48.6	47.1	48.3	45.6	42.0	52.7	42.6	43.0	51.4	31.9	39.5		38.4
	減少	31.6	31.6	30.7	26.6	38.2	28.4	35.7	37.1	39.7	34.8	31.1	42.6	43.0	33.8	55.6	41.9		49.3
	D・I	-2.5	-9.2	-8.0	-6.3	-18.0	-5.4	-18.6	-22.5	-25.0	-11.6	-14.9	-27.9	-29.1	-18.9	-43.1	-23.3		-37.0
	修正値	-11.7	-14.3	-20.3	-10.5	-9.0	-6.1	-15.9	-19.8	-27.8	-15.9	-23.0	-28.8	-23.1	-20.7	-39.8	-19.3	-17.0	-37.8
	傾向値	-26.1		-18.8		-14.3		-11.9		-14.6		-18.2		-20.5		-24.9			
収益	増加	33.8	28.9	26.7	16.3	16.9	17.6	16.9	12.2	30.4	22.9	20.5	22.1	11.5	13.5	12.3	14.9		18.7
	変らず	33.8	34.2	37.3	50.0	30.3	43.2	32.4	40.0	36.2	35.7	45.2	33.8	33.3	43.2	20.5	31.0		30.7
	減少	32.5	36.8	36.0	33.8	52.8	39.2	50.7	47.8	33.3	41.4	34.2	44.1	55.2	43.2	67.1	54.0		50.7
	D・I	1.3	-7.9	-9.3	-17.5	-36.0	-21.6	-33.8	-35.6	-2.9	-18.6	-13.7	-22.1	-43.7	-29.7	-54.8	-39.1		-32.0
	修正値	-10.8	-15.0	-23.1	-22.3	-26.7	-14.9	-27.9	-34.8	-15.6	-25.6	-22.4	-26.8	-33.5	-24.8	-48.9	-35.9	-15.0	-36.8
	傾向値	-24.9		-18.5		-16.6		-18.2		-20.0		-21.0		-22.6		-26.1			
価格動向	販売価格	-12.7	-7.9	-9.3	-16.5	-12.2	-12.2	-17.1	-13.3	-7.1	-8.7	-5.4	-8.7	-13.8	-5.4	-12.2	-19.5		-14.9
	修正値	-14.8	-8.9	-15.7	-16.5	-9.9	-16.2	-16.8	-11.4	-8.7	-11.4	-9.5	-9.1	-11.4	-8.6	-11.9	-16.7	0.0	-16.9
	傾向値	-12.8		-12.1		-11.3		-12.0		-12.1		-11.0		-10.7		-10.2			
	原材料価格	29.9	31.6	46.7	27.3	51.1	39.2	43.7	48.3	37.1	52.9	47.3	36.2	43.7	35.1	29.7	41.4		36.5
	修正値	31.1	32.0	47.8	30.8	48.8	38.5	42.1	45.6	39.0	51.5	49.0	40.0	43.6	37.3	32.1	39.9	-12.0	38.0
	傾向値	31.3		34.5		38.9		42.0		43.7		44.7		43.9		41.2			
在庫・資金繰り	原材料在庫数量	2.6	2.7	2.7	1.3	10.0	6.8	9.9	8.9	8.7	0.0	5.4	7.5	15.9	5.4	20.3	11.4		18.7
	修正値	3.7	3.6	4.4	4.0	9.1	4.4	8.9	7.9	11.6	1.6	7.7	11.1	13.6	4.1	18.3	9.3	5.0	19.8
	資金繰り	-17.5	-18.4	-12.0	-20.0	-10.0	-14.9	-22.5	-17.8	-17.4	-31.4	-8.1	-16.2	-17.0	-16.2	-26.7	-26.1		-33.3
	修正値	-18.0	-20.9	-18.0	-20.0	-11.6	-19.7	-22.0	-16.5	-16.1	-32.8	-14.1	-16.7	-17.7	-21.2	-24.5	-22.7	-7.0	-32.2
前年同期比	売上額	-4.5		-7.7		-17.9		-18.8		4.5		-9.8		-32.1		-30.1			
	収益	-11.9		-18.5		-32.9		-28.8		-7.6		-10.0		-35.7		-38.4			
雇用	残業時間	-6.0	-10.8	9.2	3.0	-21.2	-20.3	-12.3	-17.6	-1.5	-9.4	-3.3	-15.6	-26.2	-16.4	-24.3	-20.2		-4.1
	人手	-14.9	-10.4	-23.1	-13.4	-22.4	-14.1	-12.1	-20.2	-21.2	-15.4	-37.1	-18.8	-26.2	-25.8	-16.2	-18.1		-18.9
借入金	借入難易度	3.1		1.6		5.9		10.0		10.9		16.9		8.4		2.7			
	借入をした(%)	31.3	24.6	21.3	19.7	27.2	15.9	27.0	21.3	31.7	18.3	32.3	29.3	25.3	24.6	28.4	21.0		29.0
	借入をしない(%)	68.8	75.4	78.7	80.3	72.8	84.1	73.0	78.8	68.3	81.7	67.7	70.7	74.7	75.4	71.6	79.0		71.0
有効回答事業所数		80		75		90		71		70		74		88		75			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		H29		H30		H30		H30		H30		H31		H31～R1		R1		対	R1
項目		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		前期比	10～12月期
設備投資動向（％）	現在の設備	-9.2	-6.2	-9.2	-13.8	-15.9	-9.7	-8.1	-7.5	-6.3	-11.3	-17.7	0.0	-14.5	-13.3	-9.3	-12.2		-9.3
	実施した	40.3	31.7	31.7	41.7	26.9	34.4	22.6	28.0	43.5	35.5	38.3	41.9	36.3	32.7	29.6	40.0		28.6
	事業用地・建物	3.2	4.8	4.8	5.0	1.3	3.3	1.6	4.0	3.2	1.6	3.3	4.8	5.0	5.5	2.8	6.3		4.3
	機械・設備の新・増設	21.0	11.1	15.9	11.7	11.5	9.8	12.9	9.3	11.3	6.5	16.7	16.1	11.3	10.9	15.5	18.8		8.6
	機械・設備の更改	12.9	15.9	6.3	20.0	12.8	16.4	8.1	17.3	19.4	17.7	15.0	16.1	13.8	10.9	9.9	18.8		14.3
	事務機器	9.7	4.8	12.7	11.7	11.5	11.5	8.1	5.3	8.1	12.9	10.0	11.3	10.0	10.9	9.9	8.8		10.0
	車両	11.3	7.9	7.9	10.0	5.1	9.8	8.1	5.3	17.7	6.5	15.0	8.1	6.3	7.3	11.3	7.5		4.3
	その他	0.0	3.2	0.0	1.7	2.6	0.0	3.2	0.0	6.5	1.6	0.0	0.0	3.8	1.8	2.8	2.5		0.0
	実施しない	59.7	68.3	68.3	58.3	73.1	65.6	77.4	72.0	56.5	64.5	61.7	58.1	63.8	67.3	70.4	60.0		71.4
経営上の問題点（％）	売上の停滞・減少	47.6		53.2		44.4		46.0		49.2		45.0		54.8		65.3			
	人手不足	23.8		22.6		21.0		23.8		29.2		38.3		28.6		27.8			
	大手企業との競争の激化	4.8		6.5		1.2		1.6		0.0		3.3		1.2		2.8			
	同業者間の競争の激化	20.6		12.9		14.8		20.6		13.8		6.7		9.5		15.3			
	親企業による選別の強化	4.8		0.0		1.2		3.2		4.6		3.3		3.6		4.2			
	輸入製品との競争の激化	1.6		1.6		1.2		1.6		1.5		6.7		2.4		1.4			
	合理化の不足	12.7		8.1		9.9		7.9		9.2		8.3		11.9		8.3			
	利幅の縮小	19.0		17.7		25.9		23.8		18.5		15.0		16.7		16.7			
	原材料高	17.5		21.0		29.6		28.6		23.1		23.3		23.8		18.1			
	販売納入先からの値下げ要請	0.0		8.1		3.7		3.2		6.2		5.0		6.0		6.9			
	仕入先からの値上げ要請	9.5		8.1		13.6		7.9		12.3		11.7		11.9		6.9			
	人件費の増加	3.2		12.9		12.3		9.5		12.3		10.0		10.7		9.7			
	人件費以外の経費増加	14.3		12.9		6.2		11.1		9.2		3.3		6.0		6.9			
	工場・機械の狭小・老朽化	27.0		22.6		19.8		22.2		18.5		30.0		20.2		19.4			
	生産能力の不足	3.2		8.1		6.2		3.2		6.2		6.7		7.1		9.7			
	下請の確保難	7.9		11.3		11.1		4.8		7.7		13.3		9.5		9.7			
	代金回収の悪化	0.0		0.0		1.2		3.2		6.2		1.7		0.0		0.0			
	地価の高騰	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		1.2		0.0			
	天候の不順	0.0		0.0		1.2		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
	地場産業の衰退	0.0		1.6		0.0		4.8		1.5		1.7		3.6		1.4			
	大手企業・工場の縮小・撤退	4.8		4.8		9.9		0.0		4.6		5.0		4.8		11.1			
	為替レートの変動	1.6		4.8		2.5		3.2		3.1		0.0		1.2		0.0			
	その他	0.0		4.8		4.9		6.3		7.7		0.0		3.6		5.6			
	問題なし	4.8		4.8		3.7		1.6		1.5		1.7		6.0		2.8			
重点経営施策（％）	販路を広げる	53.8		60.9		58.5		54.0		54.0		51.7		59.8		54.8			
	経費を節減する	29.2		34.4		34.1		39.7		30.2		48.3		43.9		47.9			
	情報力を強化する	15.4		20.3		22.0		17.5		19.0		18.3		15.9		16.4			
	新製品・技術を開発する	29.2		26.6		25.6		27.0		30.2		21.7		24.4		24.7			
	不採算部門を整理・縮小する	3.1		6.3		6.1		3.2		7.9		6.7		8.5		8.2			
	提携先を見つける	6.2		6.3		11.0		6.3		7.9		6.7		13.4		8.2			
	機械化を推進する	12.3		9.4		13.4		19.0		12.7		11.7		11.0		9.6			
	人材を確保する	41.5		37.5		31.7		36.5		34.9		41.7		31.7		37.0			
	パート化を図る	3.1		1.6		2.4		3.2		0.0		3.3		1.2		2.7			
	教育訓練を強化する	13.8		17.2		14.6		17.5		19.0		10.0		11.0		13.7			
	労働条件を改善する	4.6		3.1		6.1		3.2		6.3		3.3		2.4		2.7			
	工場・機械を増設・移転する	4.6		6.3		6.1		4.8		15.9		15.0		6.1		6.8			
	不動産の有効活用を図る	3.1		6.3		4.9		7.9		4.8		5.0		3.7		4.1			
	その他	1.5		0.0		0.0		1.6		1.6		0.0		0.0		0.0			
	特になし	6.2		9.4		6.1		4.8		4.8		1.7		7.3		6.8			
有効回答事業所数		80		75		90		71		70		74		88		75			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		H29		H30		H30		H30		H30		H31		H31～R1		R1		対	R1
項目		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		前期比	10～12月期
業況	良い	23.9	23.4	20.5	18.3	18.6	17.3	18.1	17.9	23.6	20.7	6.6	18.6	20.7	8.0	15.1	14.1		5.6
	普通	31.0	46.8	30.8	33.8	35.1	40.0	33.7	46.3	40.3	41.5	42.1	34.3	28.7	41.3	35.6	27.1		36.6
	悪い	45.1	29.9	48.7	47.9	46.4	42.7	48.2	35.8	36.1	37.8	51.3	47.1	50.6	50.7	49.3	58.8		57.7
	D・I	-21.1	-6.5	-28.2	-29.6	-27.8	-25.3	-30.1	-17.9	-12.5	-17.1	-44.7	-28.6	-29.9	-42.7	-34.2	-44.7		-52.1
	修正値	-25.1	-9.9	-33.0	-28.0	-23.2	-26.7	-29.0	-19.1	-17.0	-20.7	-43.6	-23.7	-27.9	-42.0	-33.1	-41.8	-5.0	-52.8
	傾向値	-24.2		-22.2		-22.9		-25.0		-25.7		-26.7		-29.1		-29.8			
売上額	増加	35.2	24.7	25.6	23.9	28.1	20.0	26.2	33.0	34.2	30.1	15.8	15.9	18.4	14.5	21.9	17.4		19.4
	変らず	28.2	49.4	28.2	32.4	27.1	38.7	27.4	37.1	28.8	37.3	32.9	37.7	23.0	47.4	23.3	26.7		27.8
	減少	36.6	26.0	46.2	43.7	44.8	41.3	46.4	29.9	37.0	32.5	51.3	46.4	58.6	38.2	54.8	55.8		52.8
	D・I	-1.4	-1.3	-20.5	-19.7	-16.7	-21.3	-20.2	3.1	-2.7	-2.4	-35.5	-30.4	-40.2	-23.7	-32.9	-38.4		-33.3
	修正値	-15.1	-7.7	-21.1	-12.4	-7.3	-19.6	-18.2	-0.5	-16.1	-11.2	-30.4	-20.2	-33.1	-22.1	-31.0	-37.5	2.0	-38.9
	傾向値	-21.0		-17.0		-14.0		-13.3		-14.9		-16.9		-21.7		-26.3			
収益	増加	28.2	22.1	19.5	21.1	24.7	18.4	26.2	30.9	27.4	28.0	10.5	14.3	18.4	11.8	17.8	16.3		11.1
	変らず	31.0	46.8	32.5	33.8	23.7	39.5	28.6	37.1	34.2	36.6	32.9	37.1	28.7	48.7	26.0	25.6		34.7
	減少	40.8	31.2	48.1	45.1	51.5	42.1	45.2	32.0	38.4	35.4	56.6	48.6	52.9	39.5	56.2	58.1		54.2
	D・I	-12.7	-9.1	-28.6	-23.9	-26.8	-23.7	-19.0	-1.0	-11.0	-7.3	-46.1	-34.3	-34.5	-27.6	-38.4	-41.9		-43.1
	修正値	-20.6	-13.6	-28.5	-16.7	-17.7	-24.3	-21.1	-5.1	-20.6	-14.0	-41.5	-25.9	-28.1	-27.5	-38.9	-41.5	-11.0	-46.1
	傾向値	-25.9		-23.3		-22.4		-21.7		-21.6		-23.5		-26.7		-30.0			
価格動向	販売価格	1.4	-3.9	1.3	8.5	-7.4	3.9	-3.6	-3.1	-5.5	-3.7	0.0	-8.6	-5.8	6.6	-1.4	-7.1		-9.9
	〃 修正値	-3.5	-2.1	1.9	5.1	-5.8	2.1	-4.0	-1.9	-7.4	-1.9	-0.9	-8.5	-3.0	2.7	-0.7	-3.8	2.0	-6.9
	〃 傾向値	-3.9		-2.4		-2.1		-2.1		-2.9		-3.9		-3.9		-3.4			
	仕入価格	28.2	31.2	26.9	21.1	42.3	23.7	28.6	30.9	32.9	36.1	39.5	27.1	32.6	44.7	36.1	30.6		22.5
	〃 修正値	23.9	32.9	30.6	21.4	41.5	23.5	32.3	32.6	29.0	36.8	42.5	29.5	32.2	43.2	43.1	32.8	11.0	26.0
	〃 傾向値	22.8		24.0		27.8		31.0		32.1		34.2		34.6		34.3			
在庫・資金繰り	在庫数量	8.8	1.3	15.8	10.3	12.6	9.6	19.3	5.2	15.3	9.8	13.7	8.6	12.9	8.2	22.5	7.1		21.4
	〃 修正値	12.7	3.0	11.8	10.8	12.8	6.3	18.1	7.7	19.0	10.5	10.5	9.3	15.6	5.4	19.2	10.4	4.0	18.9
	資金繰り	-5.6	-7.8	-7.8	-12.7	-4.2	-7.9	-18.1	-2.1	1.4	-15.9	-3.9	4.3	-14.9	-6.6	-11.1	-17.6		-11.3
	〃 修正値	-5.4	-8.9	-12.9	-10.8	-6.1	-12.1	-15.7	-2.3	-0.4	-16.7	-6.8	4.2	-15.4	-8.6	-6.8	-16.3	9.0	-11.1
前年同期比	売上額	12.9		-20.3		3.3		-18.3		-13.7		-45.1		-23.0		-27.8			
	収益	0.0		-23.5		-19.6		-26.5		-20.5		-45.1		-34.5		-36.1			
	販売価格	1.4		2.9		5.4		-4.9		0.0		0.0		-3.5		-5.6			
雇用	残業時間	5.8	1.5	7.5	-2.9	-14.3	1.5	-9.8	-5.4	-12.5	0.0	-5.6	-11.1	-17.4	-8.5	-6.9	-11.6		-4.2
	人手	-27.1	-13.4	-37.3	-24.3	-28.6	-24.2	-27.7	-27.2	-28.8	-36.6	-26.8	-21.9	-19.8	-22.5	-29.6	-25.6		-27.5
借入金	借入難易度	2.9		17.1		9.9		16.0		8.5		4.3		-2.4		7.0			
	借入をした(%)	36.2	28.1	32.9	28.8	30.8	27.7	38.6	16.7	35.6	25.0	27.5	22.4	34.5	24.6	34.7	28.0		25.8
	借入をしない(%)	63.8	71.9	67.1	71.2	69.2	72.3	61.4	83.3	64.4	75.0	72.5	77.6	65.5	75.4	65.3	72.0		74.2
有効回答事業所数		71		78		98		84		73		76		87		73			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		H29		H30		H30		H30		H30		H31		H31～R1		R1		対前期比		R1	
項目		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期				10～12月期	
設備投資動向（％）	現在の設備	-2.9	-6.3	1.5	-4.3	-1.1	1.5	-3.8	-1.1	-11.9	-7.7	-11.9	-12.1	-11.0	-9.1	-8.7	-14.6			-10.3	
	実施した	23.9	21.3	44.6	24.2	40.7	33.8	27.3	30.5	25.0	28.4	33.8	31.9	37.3	30.8	33.8	36.8			33.8	
	事業用地・建物	3.0	1.6	4.6	6.1	3.5	4.6	5.2	3.7	0.0	5.4	1.5	0.0	1.2	0.0	4.4	1.3			0.0	
	機械・設備の新・増設	3.0	4.9	9.2	4.5	4.7	9.2	3.9	7.3	1.5	2.7	6.2	5.8	4.8	3.1	8.8	3.9			4.6	
	機械・設備の更改	4.5	9.8	10.8	9.1	7.0	3.1	9.1	6.1	4.4	8.1	6.2	7.2	7.2	15.4	5.9	6.6			7.7	
	事務機器	13.4	4.9	13.8	9.1	22.1	21.5	9.1	12.2	17.6	14.9	13.8	15.9	21.7	9.2	19.1	23.7			18.5	
	車両	11.9	6.6	26.2	12.1	24.4	13.8	13.0	15.9	13.2	12.2	16.9	17.4	15.7	15.4	14.7	11.8			12.3	
	その他	0.0	0.0	1.5	1.5	1.2	0.0	0.0	1.2	0.0	1.4	1.5	0.0	2.4	1.5	0.0	2.6			1.5	
	実施しない	76.1	78.7	55.4	75.8	59.3	66.2	72.7	69.5	75.0	71.6	66.2	68.1	62.7	69.2	66.2	63.2			66.2	
経営上の問題点（％）	売上の停滞・減少	45.1		52.3		49.5		42.0		40.3		48.5		54.9		60.0					
	人手不足	22.5		21.5		19.8		17.3		22.2		20.6		18.3		24.3					
	同業者間の競争の激化	36.6		27.7		25.3		30.9		22.2		25.0		26.8		21.4					
	輸入製品との競争の激化	2.8		4.6		2.2		1.2		2.8		1.5		4.9		1.4					
	流通経路の変化による競争の激化	11.3		7.7		8.8		8.6		8.3		8.8		3.7		10.0					
	合理化の不足	9.9		1.5		4.4		6.2		6.9		7.4		2.4		1.4					
	小口注文・多頻度配送の増加	9.9		7.7		13.2		6.2		9.7		10.3		12.2		10.0					
	利幅の縮小	32.4		24.6		25.3		33.3		25.0		26.5		30.5		28.6					
	取扱商品の陳腐化	8.5		15.4		5.5		6.2		1.4		5.9		2.4		7.1					
	販売商品の不足	4.2		7.7		5.5		4.9		9.7		4.4		2.4		0.0					
	販売納入先からの値下げ要請	7.0		0.0		8.8		4.9		4.2		1.5		6.1		1.4					
	仕入先からの値上げ要請	9.9		15.4		14.3		13.6		15.3		19.1		9.8		11.4					
	人件費の増加	12.7		15.4		13.2		8.6		11.1		8.8		12.2		10.0					
	人件費以外の経費の増加	4.2		7.7		9.9		12.3		9.7		7.4		12.2		11.4					
	取引先の減少	19.7		12.3		15.4		9.9		13.9		19.1		19.5		21.4					
	店舗の狭小・老朽化	0.0		3.1		3.3		2.5		2.8		4.4		1.2		5.7					
	代金回収の悪化	1.4		0.0		1.1		1.2		0.0		0.0		0.0		0.0					
	地価の高騰	1.4		0.0		1.1		0.0		1.4		0.0		1.2		0.0					
	駐車場の確保難	1.4		4.6		1.1		0.0		0.0		1.5		0.0		1.4					
	天候の不順	2.8		1.5		2.2		2.5		5.6		0.0		2.4		7.1					
	地場産業の衰退	0.0		0.0		2.2		1.2		4.2		1.5		3.7		4.3					
	為替レートの変動	14.1		13.8		14.3		19.8		16.7		13.2		18.3		12.9					
	大手企業・工場の縮小・撤退	0.0		1.5		3.3		4.9		4.2		2.9		6.1		2.9					
	その他	2.8		4.6		0.0		3.7		2.8		2.9		2.4		0.0					
	問題なし	1.4		4.6		4.4		3.7		6.9		5.9		1.2		1.4					
重点経営施策（％）	販路を広げる	66.2		58.8		53.3		48.8		54.8		62.3		59.3		56.9					
	経費を削減する	31.0		33.8		28.9		35.4		32.9		36.2		40.7		38.9					
	品揃えを充実する	9.9		20.6		24.4		18.3		15.1		17.4		16.3		19.4					
	情報力を強化する	26.8		26.5		26.7		26.8		28.8		33.3		29.1		31.9					
	新しい事業を始める	19.7		19.1		14.4		14.6		13.7		2.9		14.0		12.5					
	提携先を見つける	14.1		5.9		6.7		8.5		5.5		11.6		7.0		5.6					
	機械化を推進する	2.8		0.0		4.4		7.3		2.7		1.4		3.5		2.8					
	人材を確保する	22.5		27.9		26.7		22.0		27.4		20.3		30.2		23.6					
	パート化を図る	0.0		2.9		1.1		1.2		1.4		0.0		1.2		4.2					
	教育訓練を強化する	15.5		7.4		8.9		13.4		9.6		13.0		8.1		5.6					
	流通経路の見直しをする	11.3		8.8		6.7		4.9		6.8		8.7		4.7		6.9					
	取引先を支援する	2.8		4.4		6.7		1.2		6.8		4.3		2.3		2.8					
	輸入品の取扱いを増やす	4.2		5.9		5.6		4.9		9.6		1.4		2.3		4.2					
	労働条件を改善する	0.0		2.9		4.4		3.7		4.1		4.3		4.7		4.2					
	不動産の有効活用を図る	0.0		5.9		4.4		2.4		1.4		4.3		3.5		2.8					
	その他	1.4		1.5		2.2		2.4		8.2		0.0		2.3		1.4					
	特になし	9.9		8.8		8.9		11.0		11.0		10.1		9.3		11.1					
有効回答事業所数		71		78		98		84		73		76		87		73					

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		H29		H30		H30		H30		H30		H31		H31～R1		R1		対	R1
項目		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		前期比	10～12月期
業況	良い	15.2	22.4	17.3	15.2	16.0	18.9	6.6	18.8	9.2	17.3	6.2	4.6	15.1	17.2	16.9	16.4		19.0
	普通	36.4	42.1	44.0	48.5	35.8	51.4	40.8	36.3	56.9	44.0	53.8	61.5	34.2	34.4	28.8	39.7		27.6
	悪い	48.5	35.5	38.7	36.4	48.1	29.7	52.6	45.0	33.8	38.7	40.0	33.8	50.7	48.4	54.2	43.8		53.4
	D・I	-33.3	-13.2	-21.3	-21.2	-32.1	-10.8	-46.1	-26.3	-24.6	-21.3	-33.8	-29.2	-35.6	-31.3	-37.3	-27.4		-34.5
	修正値	-38.9	-22.4	-27.3	-19.4	-26.7	-15.2	-39.2	-15.3	-30.5	-27.0	-38.2	-26.9	-33.0	-36.1	-29.8	-22.1	3.0	-37.0
	傾向値	-35.6		-33.9		-30.6		-31.6		-32.1		-32.6		-34.6		-33.9			
売上額	増加	24.2	42.1	14.7	18.2	25.9	41.3	22.4	27.5	23.1	28.9	10.8	12.3	24.7	17.2	13.8	16.4		25.4
	変らず	27.3	28.9	33.3	37.9	34.6	36.0	23.7	33.8	46.2	36.8	44.6	56.9	31.5	37.5	22.4	34.2		22.0
	減少	48.5	28.9	52.0	43.9	39.5	22.7	53.9	38.8	30.8	34.2	44.6	30.8	43.8	45.3	63.8	49.3		52.5
	D・I	-24.2	13.2	-37.3	-25.8	-13.6	18.7	-31.6	-11.3	-7.7	-5.3	-33.8	-18.5	-19.2	-28.1	-50.0	-32.9		-27.1
	修正値	-34.2	-6.5	-27.9	-19.8	-13.8	10.9	-29.4	4.0	-19.3	-18.1	-24.9	-10.3	-22.1	-34.3	-45.7	-22.8	-24.0	-34.7
	傾向値	-29.4		-29.3		-25.9		-25.2		-24.6		-22.1		-22.4		-25.4			
収益	増加	12.1	28.9	13.3	10.6	21.0	33.3	9.2	27.5	16.9	18.4	6.2	7.7	17.8	18.8	10.2	13.7		16.9
	変らず	40.9	46.1	33.3	47.0	35.8	40.0	36.8	32.5	49.2	47.4	43.1	64.6	35.6	35.9	30.5	39.7		32.2
	減少	47.0	25.0	53.3	42.4	43.2	26.7	53.9	40.0	33.8	34.2	50.8	27.7	46.6	45.3	59.3	46.6		50.8
	D・I	-34.8	3.9	-40.0	-31.8	-22.2	6.7	-44.7	-12.5	-16.9	-15.8	-44.6	-20.0	-28.8	-26.6	-49.2	-32.9		-33.9
	修正値	-39.5	-16.0	-33.2	-22.3	-22.6	0.9	-44.5	-2.6	-24.0	-28.4	-38.4	-11.4	-32.7	-31.4	-46.6	-27.0	-14.0	-40.0
	傾向値	-35.1		-34.2		-31.1		-32.5		-33.2		-31.5		-32.9		-34.3			
価格動向	販売価格	-1.5	-6.6	0.0	-3.0	-7.4	10.7	1.3	-7.5	-3.1	-1.3	-6.2	0.0	-2.7	4.7	0.0	-12.3		13.6
	〃 修正値	-7.6	-9.2	0.0	-5.0	-8.3	7.2	4.8	-3.1	-6.4	-1.0	-5.2	-2.5	-1.7	0.5	1.0	-6.1	3.0	12.0
	〃 傾向値	-8.0		-6.9		-6.0		-3.9		-2.1		-3.1		-3.2		-2.8			
	仕入価格	43.9	26.3	32.0	37.9	39.5	26.7	32.9	26.3	32.3	31.6	44.6	27.7	43.8	43.8	33.9	34.2		45.8
	〃 修正値	39.8	24.7	36.2	40.8	35.3	26.4	38.0	27.0	30.6	31.0	46.4	31.9	40.5	42.9	40.3	35.9	0.0	44.3
	〃 傾向値	32.0		32.0		33.0		35.8		35.6		35.8		37.9		38.5			
在庫・資金繰り	在庫数量	7.6	5.3	9.3	6.1	11.1	8.0	11.8	1.3	12.3	0.0	15.4	7.7	6.8	12.5	13.6	2.7		13.6
	〃 修正値	7.9	4.3	9.6	6.8	12.7	8.5	12.2	2.2	14.1	-0.5	14.2	8.1	8.8	11.3	12.0	4.4	3.0	12.0
	資金繰り	-13.4	-13.2	-10.7	-15.2	-8.6	-4.0	-26.3	-11.3	-10.8	-19.7	-21.5	-12.3	-26.0	-23.4	-23.7	-25.0		-20.3
	〃 修正値	-17.1	-17.2	-9.5	-15.5	-12.5	-5.6	-22.8	-11.9	-15.0	-20.1	-22.4	-13.8	-28.3	-26.0	-19.3	-24.0	9.0	-18.5
前年同期比	売上額	-16.7		5.6		-30.0		-41.7		-9.7		-41.7		-39.0		-41.7			
	収益	-29.7		-14.3		-27.5		-60.0		-33.3		-44.4		-63.4		-50.0			
	販売価格	-5.7		8.3		-10.0		-14.3		-3.4		-11.1		-7.3		-5.6			
雇用	残業時間	-2.8	0.0	-5.6	-14.3	-12.5	-5.6	8.3	-12.5	-9.7	5.6	-27.8	-22.6	-2.5	-28.6	-16.7	-2.5		-2.8
	人手	-37.8	-40.0	-44.4	-30.6	-48.7	-38.9	-50.0	-46.2	-54.8	-38.9	-54.8	-58.5	-40.0	-30.6	-51.2			-36.1
借入金	借入難易度	0.0		8.6		-10.0		-5.7		-9.7		-2.8		-12.5		-2.9			
	借入をした(%)	30.6	21.2	19.4	13.9	25.6	28.6	25.0	13.2	35.5	23.5	25.0	17.9	30.0	16.7	24.2	17.9		14.7
	借入をしない(%)	69.4	78.8	80.6	86.1	74.4	71.4	75.0	86.8	64.5	76.5	75.0	82.1	70.0	83.3	75.8	82.1		85.3
有効回答事業所数		67		75		81		76		65		65		73		59			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		H29		H30		H30		H30		H30		H31		H31～R1		R1		対	R1
項目		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		前期比	10～12月期
設備投資動向（％）	現在の設備	-19.4	-18.2	-11.1	-20.6	-22.5	-14.3	-20.0	-27.5	-16.7	-22.9	-25.0	-20.0	-17.1	-25.7	-8.6	-19.5		-11.4
	実施した	26.5	19.2	22.6	30.3	22.2	28.1	38.7	29.4	26.7	24.1	28.1	30.0	38.5	30.3	31.4	32.4		23.5
	事業用地・建物	2.9	3.8	6.5	3.0	5.6	9.4	6.5	5.9	13.3	3.4	6.3	6.7	7.7	6.1	2.9	8.8		2.9
	機械・設備の新・増設	8.8	3.8	16.1	21.2	11.1	15.6	29.0	14.7	13.3	13.8	12.5	13.3	20.5	9.1	2.9	14.7		5.9
	機械・設備の更改	5.9	15.4	9.7	9.1	13.9	15.6	19.4	17.6	10.0	10.3	12.5	23.3	17.9	15.2	20.0	14.7		11.8
	事務機器	5.9	3.8	9.7	3.0	5.6	9.4	6.5	5.9	6.7	6.9	6.3	6.7	7.7	3.0	11.4	5.9		2.9
	車両	8.8	0.0	0.0	3.0	5.6	6.3	9.7	5.9	6.7	3.4	3.1	0.0	10.3	9.1	2.9	14.7		8.8
	その他	2.9	0.0	0.0	3.0	0.0	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	2.9		0.0
	実施しない	73.5	80.8	77.4	69.7	77.8	71.9	61.3	70.6	73.3	75.9	71.9	70.0	61.5	69.7	68.6	67.6		76.5
経営上の問題点（％）	売上の停滞・減少	51.4		34.3		55.3		63.6		41.9		58.3		52.6		54.3			
	人手不足	29.7		37.1		34.2		36.4		41.9		33.3		47.4		42.9			
	同業者間の競争の激化	21.6		22.9		18.4		6.1		19.4		11.1		13.2		20.0			
	大型店との競争の激化	13.5		5.7		2.6		3.0		6.5		2.8		5.3		11.4			
	輸入製品との競争の激化	2.7		2.9		0.0		0.0		3.2		0.0		0.0		2.9			
	利幅の縮小	16.2		11.4		18.4		15.2		16.1		8.3		10.5		14.3			
	取扱商品の陳腐化	8.1		2.9		2.6		3.0		3.2		2.8		2.6		8.6			
	販売商品の不足	0.0		5.7		0.0		0.0		0.0		2.8		0.0		0.0			
	販売納入先からの値下げ要請	0.0		0.0		2.6		3.0		0.0		2.8		5.3		2.9			
	仕入先からの値上げ要請	10.8		5.7		13.2		12.1		9.7		13.9		13.2		17.1			
	人件費の増加	27.0		31.4		26.3		36.4		19.4		27.8		31.6		22.9			
	人件費以外の経費の増加	5.4		5.7		13.2		6.1		6.5		8.3		18.4		8.6			
	取引先の減少	5.4		14.3		15.8		12.1		6.5		19.4		15.8		11.4			
	商圏人口の減少	10.8		8.6		0.0		3.0		0.0		2.8		2.6		2.9			
	商店街の集客力の低下	18.9		14.3		15.8		12.1		25.8		19.4		13.2		8.6			
	店舗の狭小・老朽化	8.1		17.1		5.3		3.0		16.1		16.7		7.9		11.4			
	代金回収の悪化	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		2.9			
	地価の高騰	0.0		2.9		0.0		3.0		0.0		2.8		2.6		2.9			
	駐車場の確保難	5.4		2.9		0.0		0.0		6.5		2.8		0.0		0.0			
	天候の不順	13.5		25.7		26.3		30.3		25.8		11.1		7.9		20.0			
	地場産業の衰退	0.0		2.9		5.3		0.0		0.0		2.8		0.0		0.0			
	大手企業・工場の縮小・撤退	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
	その他	2.7		2.9		0.0		0.0		6.5		2.8		7.9		0.0			
	問題なし	2.7		2.9		2.6		6.1		3.2		5.6		2.6		0.0			
重点経営施策（％）	品揃えを改善する	25.0		30.6		28.2		23.5		16.1		31.4		22.0		27.8			
	経費を節減する	52.8		52.8		48.7		38.2		45.2		57.1		48.8		50.0			
	宣伝・広報を強化する	13.9		16.7		17.9		26.5		25.8		28.6		26.8		22.2			
	新しい事業を始める	8.3		19.4		20.5		8.8		9.7		5.7		9.8		13.9			
	店舗・設備を改装する	2.8		22.2		5.1		11.8		9.7		20.0		7.3		13.9			
	仕入先を開拓・選別する	30.6		25.0		17.9		26.5		25.8		22.9		9.8		19.4			
	営業時間を延長する	0.0		0.0		2.6		2.9		3.2		0.0		0.0		2.8			
	売れ筋商品を取扱う	19.4		30.6		12.8		14.7		12.9		14.3		24.4		30.6			
	商店街事業を活性化させる	8.3		2.8		12.8		2.9		6.5		5.7		2.4		13.9			
	機械化を推進する	0.0		0.0		2.6		2.9		3.2		0.0		2.4		5.6			
	人材を確保する	36.1		36.1		41.0		38.2		38.7		31.4		41.5		36.1			
	パート化を図る	11.1		5.6		5.1		0.0		6.5		2.9		2.4		8.3			
	教育訓練を強化する	13.9		11.1		12.8		14.7		12.9		14.3		19.5		8.3			
	輸入品の取扱いを増やす	0.0		2.8		2.6		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
	不動産の有効活用を図る	0.0		8.3		5.1		14.7		6.5		8.6		2.4		2.8			
	その他	2.8		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		2.4		2.8			
	特になし	2.8		2.8		2.6		5.9		9.7		5.7		7.3		0.0			
有効回答事業所数		67		75		81		76		65		65		73		59			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		H29		H30		H30		H30		H30		H31		H31～R1		R1		対	R1
項目		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		前期比	10～12月期
業況	良い	25.3	17.6	22.7	21.9	13.8	18.1	11.5	7.0	13.9	9.0	16.5	11.7	20.5	15.2	22.1	19.0		13.5
	普通	41.3	62.2	50.7	50.7	55.2	54.2	60.3	57.0	57.0	65.4	51.9	58.4	44.6	50.6	44.2	46.8		43.2
	悪い	33.3	20.3	26.7	27.4	31.0	27.8	28.2	36.0	29.1	25.6	31.6	29.9	34.9	34.2	33.8	34.2		43.2
	D・I	-8.0	-2.7	-4.0	-5.5	-17.2	-9.7	-16.7	-29.1	-15.2	-16.7	-15.2	-18.2	-14.5	-19.0	-11.7	-15.2		-29.7
	修正値	-13.8	-12.6	-10.6	-6.3	-12.6	-8.0	-14.9	-23.9	-19.2	-23.6	-20.4	-19.8	-8.4	-20.4	-10.3	-7.9	-2.0	-32.4
	傾向値	-10.4		-9.1		-10.4		-11.7		-12.4		-14.7		-15.7		-14.8			
売上額	増加	23.0	20.3	28.0	16.2	20.7	26.4	20.5	7.0	28.2	18.2	14.1	16.7	28.9	19.2	10.4	24.7		20.0
	変らず	45.9	50.0	37.3	58.1	48.3	36.1	42.3	50.0	48.7	48.1	52.6	48.7	33.7	46.2	40.3	44.4		40.0
	減少	31.1	29.7	34.7	25.7	31.0	37.5	37.2	43.0	23.1	33.8	33.3	34.6	37.3	34.6	49.4	30.9		40.0
	D・I	-8.1	-9.5	-6.7	-9.5	-10.3	-11.1	-16.7	-36.0	5.1	-15.6	-19.2	-17.9	-8.4	-15.4	-39.0	-6.2		-20.0
	修正値	-13.3	-16.1	-6.7	-4.2	-3.9	-9.6	-19.4	-33.9	0.2	-20.3	-18.5	-15.1	-3.4	-18.4	-37.8	-2.4	-34.0	-22.7
	傾向値	-10.5		-9.3		-9.1		-10.0		-8.8		-8.7		-10.0		-12.6			
収益	増加	20.3	12.2	26.7	13.5	17.0	19.4	17.9	9.2	24.7	14.1	12.8	15.8	22.9	15.4	11.8	19.5		17.6
	変らず	47.3	62.2	38.7	58.1	47.7	37.5	43.6	50.6	48.1	47.4	53.8	46.1	37.3	48.7	42.1	48.8		41.9
	減少	32.4	25.7	34.7	28.4	35.2	43.1	38.5	40.2	27.3	38.5	33.3	38.2	39.8	35.9	46.1	31.7		40.5
	D・I	-12.2	-13.5	-8.0	-14.9	-18.2	-23.6	-20.5	-31.0	-2.6	-24.4	-20.5	-22.4	-16.9	-20.5	-34.2	-12.2		-23.0
	修正値	-16.7	-21.0	-10.5	-10.2	-12.3	-20.0	-21.9	-30.7	-5.7	-28.2	-23.3	-19.6	-11.2	-20.9	-33.8	-12.2	-23.0	-25.2
	傾向値	-15.6		-13.3		-12.7		-14.0		-13.5		-13.9		-15.3		-16.8			
価格動向	料金価格	4.0	-4.1	2.7	-4.0	0.0	-1.4	-5.2	-7.1	0.0	-3.9	2.6	1.3	0.0	5.2	-2.6	-1.2		4.0
	修正値	0.9	-5.3	2.8	-4.6	0.3	-4.2	-6.7	-6.2	-1.7	-4.2	1.6	0.3	1.4	3.1	-2.3	0.0	-4.0	3.6
	傾向値	-3.5		-1.2		0.1		0.5		-0.1		-0.6		-0.6		-0.3			
	材料価格	25.8	13.9	26.4	27.4	29.9	26.1	23.6	28.6	28.6	22.2	30.3	34.2	30.1	38.2	26.0	28.0		32.0
	修正値	24.2	15.5	26.4	27.3	27.7	23.2	26.5	28.0	28.6	26.3	32.0	34.0	28.1	36.9	27.8	27.2	0.0	33.5
	傾向値	16.9		19.3		21.9		25.0		26.8		27.6		28.1		28.4			
在庫・資金繰り	資金繰り	-10.7	-4.1	-10.7	-6.7	-10.2	-13.7	-6.4	-19.5	-9.0	-12.8	-15.2	-13.0	-12.0	-15.2	-13.0	-15.9		-20.0
	修正値	-15.1	-8.7	-11.3	-9.2	-9.7	-12.4	-8.2	-18.6	-12.5	-16.5	-15.1	-15.7	-10.1	-14.4	-12.5	-12.6	-2.0	-21.1
前年同期比	売上額	0.0		-11.9		-13.3		-12.9		-5.6		-3.7		-1.5		-16.7			
	収益	-8.9		-10.3		-9.2		-10.8		-1.8		-10.9		-10.1		-20.0			
雇用	残業時間	-5.3	0.0	-5.2	0.0	-7.9	-1.8	1.5	-13.3	-10.9	1.5	-10.7	-7.4	-4.3	-7.3	-8.3	-11.8		-13.3
	人手	-42.1	-41.5	-55.9	-44.6	-42.1	-48.3	-50.0	-42.7	-50.0	-52.4	-50.0	-45.3	-46.4	-48.1	-52.5	-46.4		-50.0
借入金	借入難易度	0.0		8.6		-2.8		8.3		5.7		0.0		-5.9		-3.4			
	借入をした(%)	29.8	11.5	19.0	20.0	20.0	19.6	17.5	14.9	22.2	11.9	24.6	3.8	19.7	16.1	22.0	20.6		7.1
	借入をしない(%)	70.2	88.5	81.0	80.0	80.0	80.4	82.5	85.1	77.8	88.1	75.4	96.2	80.3	83.9	78.0	79.4		92.9
有効回答事業所数		76		75		88		78		79		79		83		77			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		H29		H30		H30		H30		H30		H31		H31～R1		R1		対	R1
項目		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		前期比	10～12月期
設備投資動向（％）	現在の設備	-9.1	-7.5	-10.3	-12.7	-15.8	-10.3	-9.5	-10.5	-14.5	-4.8	-12.3	-14.5	-14.5	-10.7	-11.5	-8.7		-11.5
	実施した	28.6	28.8	40.4	34.0	33.8	34.0	40.3	29.0	33.3	29.0	28.6	24.5	37.3	27.3	41.7	32.3		26.4
	事業用地・建物	5.4	0.0	5.3	0.0	4.2	1.9	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	5.7	3.0	3.6	5.0	1.6		3.8
	機械・設備の新・増設	8.9	7.7	7.0	9.4	14.1	7.5	11.3	8.7	3.7	6.5	5.4	3.8	13.4	7.3	10.0	11.3		5.7
	機械・設備の更改	10.7	13.5	10.5	11.3	9.9	13.2	14.5	10.1	11.1	12.9	10.7	13.2	9.0	10.9	16.7	16.1		13.2
	事務機器	12.5	13.5	19.3	18.9	11.3	11.3	12.9	4.3	9.3	8.1	8.9	7.5	16.4	10.9	16.7	9.7		3.8
	車両	7.1	9.6	14.0	9.4	8.5	17.0	17.7	11.6	16.7	8.1	10.7	9.4	14.9	10.9	21.7	14.5		5.7
	その他	1.8	1.9	1.8	1.9	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	3.3	1.6		0.0
	実施しない	71.4	71.2	59.6	66.0	66.2	66.0	59.7	71.0	66.7	71.0	71.4	75.5	62.7	72.7	58.3	67.7		73.6
経営上の問題点（％）	売上の停滞・減少	35.1		41.4		42.7		36.9		38.2		56.4		37.5		43.3			
	人手不足	42.1		53.4		42.7		46.2		34.5		49.1		46.9		50.0			
	同業者間の競争の激化	22.8		20.7		28.0		18.5		27.3		18.2		17.2		16.7			
	大手企業との競争の激化	7.0		5.2		5.3		0.0		3.6		1.8		3.1		5.0			
	合理化の不足	10.5		3.4		5.3		7.7		5.5		5.5		6.3		3.3			
	利幅の縮小	24.6		20.7		16.0		27.7		25.5		20.0		20.3		16.7			
	取扱事務の陳腐化	1.8		1.7		0.0		1.5		1.8		0.0		0.0		1.7			
	材料価格の上昇	17.5		6.9		9.3		12.3		9.1		12.7		15.6		15.0			
	料金の値下げ要請	1.8		5.2		4.0		1.5		1.8		0.0		3.1		3.3			
	人件費の増加	28.1		25.9		26.7		21.5		30.9		29.1		25.0		25.0			
	人件費以外の経費の増加	7.0		8.6		4.0		3.1		7.3		9.1		6.3		15.0			
	技術力の不足	10.5		13.8		13.3		13.8		9.1		10.9		12.5		10.0			
	取引先の減少	17.5		15.5		13.3		15.4		12.7		12.7		10.9		5.0			
	商圏人口の減少	3.5		1.7		2.7		3.1		1.8		3.6		1.6		3.3			
	地価の高騰	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		3.6		3.1		0.0			
	駐車場の確保難	3.5		5.2		2.7		6.2		3.6		3.6		1.6		5.0			
	店舗・設備の狭小・老朽化	1.8		3.4		6.7		1.5		0.0		5.5		1.6		6.7			
	代金回収の悪化	1.8		3.4		4.0		3.1		1.8		1.8		1.6		1.7			
	天候の不順	1.8		3.4		4.0		3.1		3.6		3.6		3.1		8.3			
	地場産業の衰退	0.0		0.0		0.0		0.0		1.8		0.0		0.0		0.0			
	大手企業・工場の縮小・撤退	0.0		1.7		2.7		1.5		5.5		0.0		1.6		5.0			
	その他	1.8		3.4		2.7		1.5		1.8		1.8		3.1		3.3			
	問題なし	3.5		5.2		4.0		4.6		5.5		5.5		6.3		3.3			
重点経営施策（％）	販路を広げる	49.1		48.3		45.5		39.7		46.3		43.9		41.8		36.1			
	経費を節減する	40.4		34.5		40.3		33.3		38.9		47.4		40.3		42.6			
	宣伝・広告を強化する	17.5		10.3		11.7		11.1		7.4		10.5		17.9		13.1			
	新しい事業を始める	17.5		22.4		13.0		12.7		13.0		15.8		11.9		9.8			
	店舗・設備を改装する	0.0		1.7		7.8		1.6		0.0		3.5		1.5		4.9			
	提携先を見つける	8.8		10.3		9.1		11.1		11.1		7.0		4.5		9.8			
	技術力を強化する	21.1		17.2		22.1		15.9		22.2		21.1		26.9		18.0			
	機械化を促進する	1.8		3.4		1.3		3.2		5.6		3.5		1.5		1.6			
	人材を確保する	47.4		51.7		46.8		50.8		51.9		47.4		46.3		45.9			
	パート化を図る	1.8		1.7		3.9		3.2		1.9		1.8		3.0		3.3			
	教育訓練を強化する	21.1		17.2		16.9		15.9		9.3		15.8		11.9		11.5			
	労働条件を改善する	15.8		17.2		10.4		14.3		7.4		14.0		7.5		14.8			
	不動産の有効活用を図る	1.8		3.4		0.0		1.6		5.6		3.5		1.5		3.3			
	その他	0.0		0.0		1.3		0.0		0.0		0.0		0.0		3.3			
	特になし	1.8		3.4		2.6		7.9		9.3		8.8		4.5		8.2			
有効回答事業所数		76		75		88		78		79		79		83		77			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		H29		H30		H30		H30		H30		H31		H31～R1		R1		対	R1
項目		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		前期比	10～12月期
業況	良い	32.9	22.7	34.6	29.6	18.3	16.9	19.5	18.7	16.9	20.0	21.4	18.6	17.8	17.4	20.8	14.9		21.3
	普通	38.4	44.0	39.7	45.1	36.6	46.8	36.4	44.0	45.1	54.7	42.9	44.3	37.8	43.5	41.6	40.2		33.3
	悪い	28.8	33.3	25.6	25.4	45.2	36.4	44.2	37.4	38.0	25.3	35.7	37.1	44.4	39.1	37.7	44.8		45.3
	D・I	4.1	-10.7	9.0	4.2	-26.9	-19.5	-24.7	-18.7	-21.1	-5.3	-14.3	-18.6	-26.7	-21.7	-16.9	-29.9		-24.0
	修正値	-9.8	-14.1	-2.9	-10.7	-10.0	-3.6	-16.7	-19.2	-28.8	-9.8	-24.0	-26.3	-10.4	-7.2	-10.8	-27.7	0.0	-28.0
	傾向値	-17.2		-12.9		-10.3		-9.9		-12.8		-18.8		-21.7		-20.7			
売上額	増加	37.0	29.3	32.1	27.4	16.0	16.7	22.1	33.3	26.8	32.5	28.6	23.9	18.9	8.6	20.8	20.2		28.9
	変らず	26.0	42.7	38.5	37.0	28.7	33.3	28.6	30.1	35.2	45.5	41.4	39.4	28.9	37.1	39.0	37.1		32.9
	減少	37.0	28.0	29.5	35.6	55.3	50.0	49.4	36.6	38.0	22.1	30.0	36.6	52.2	54.3	40.3	42.7		38.2
	D・I	0.0	1.3	2.6	-8.2	-39.4	-33.3	-27.3	-3.2	-11.3	10.4	-1.4	-12.7	-33.3	-45.7	-19.5	-22.5		-9.2
	修正値	-11.4	-6.8	-4.1	-12.5	-16.3	-13.7	-28.3	-12.6	-21.4	-2.0	-11.1	-14.7	-10.8	-26.0	-18.5	-27.9	-8.0	-21.0
	傾向値	-23.1		-18.0		-14.4		-15.1		-17.4		-19.3		-19.1		-17.4			
受注残	増加	34.2	17.3	17.9	28.8	18.1	14.1	14.3	28.0	14.3	22.1	15.7	14.3	13.3	11.4	11.7	20.2		25.3
	変らず	32.9	50.7	50.0	34.2	35.1	43.6	42.9	37.6	55.7	53.2	44.3	57.1	45.6	44.3	50.6	41.6		36.0
	減少	32.9	32.0	32.1	37.0	46.8	42.3	42.9	34.4	30.0	24.7	40.0	28.6	41.1	44.3	37.7	38.2		38.7
	D・I	1.4	-14.7	-14.1	-8.2	-28.7	-28.2	-28.6	-6.5	-15.7	-2.6	-24.3	-14.3	-27.8	-32.9	-26.0	-18.0		-13.3
	修正値	-11.3	-20.3	-12.6	-13.8	-14.3	-9.3	-29.4	-13.7	-25.7	-10.5	-21.4	-18.4	-17.2	-13.2	-26.1	-22.9	-9.0	-21.1
	傾向値	-19.5		-15.8		-14.2		-15.9		-19.6		-23.1		-24.2		-23.8			
施工高	増加	35.6	25.3	26.9	32.9	18.1	15.4	19.5	31.2	28.2	28.6	24.3	22.5	16.7	8.6	22.1	24.7		28.9
	変らず	31.5	48.0	46.2	34.2	29.8	39.7	35.1	30.1	35.2	45.5	50.0	39.4	32.2	41.4	29.9	33.7		27.6
	減少	32.9	26.7	26.9	32.9	52.1	44.9	45.5	38.7	36.6	26.0	25.7	38.0	51.1	50.0	48.1	41.6		43.4
	D・I	2.7	-1.3	0.0	0.0	-34.0	-29.5	-26.0	-7.5	-8.5	2.6	-1.4	-15.5	-34.4	-41.4	-26.0	-16.9		-14.5
	修正値	-10.2	-8.8	-6.7	-8.3	-4.1	-7.1	-28.3	-15.0	-20.3	-7.8	-10.7	-20.4	-7.3	-18.8	-25.7	-21.1	-18.0	-24.3
	傾向値	-23.4		-17.6		-13.7		-13.7		-15.7		-17.3		-17.5		-17.6			
収益	増加	31.5	24.0	24.4	27.4	15.1	12.8	13.0	22.6	28.2	27.3	20.0	19.7	12.2	8.6	16.9	14.6		22.4
	変らず	30.1	42.7	43.6	37.0	33.3	33.3	33.8	41.9	29.6	41.6	37.1	40.8	34.4	45.7	35.1	37.1		38.2
	減少	38.4	33.3	32.1	35.6	51.6	53.8	53.2	35.5	42.3	31.2	42.9	39.4	53.3	45.7	48.1	48.3		39.5
	D・I	-6.8	-9.3	-7.7	-8.2	-36.6	-41.0	-40.3	-12.9	-14.1	-3.9	-22.9	-19.7	-41.1	-37.1	-31.2	-33.7		-17.1
	修正値	-17.2	-17.4	-13.6	-15.2	-15.1	-21.6	-40.7	-20.1	-23.7	-14.4	-28.5	-25.6	-23.7	-14.7	-30.8	-35.8	-7.0	-26.3
	傾向値	-30.7		-25.0		-20.0		-20.8		-23.7		-26.5		-29.0		-28.4			
価格動向	請負価格	-6.8	-6.7	-1.3	-8.2	-18.1	-19.2	-24.7	-11.8	-4.2	-5.2	-10.1	-7.0	-18.9	-22.9	-18.2	-16.9		-18.4
	〃 修正値	-12.7	-9.3	-6.2	-13.0	-8.5	-13.5	-24.3	-12.3	-10.2	-9.1	-15.1	-11.1	-10.2	-15.7	-15.8	-15.1	-6.0	-20.9
	〃 傾向値	-23.0		-18.4		-13.8		-12.5		-12.4		-13.2		-14.4		-13.7			
	材料価格	26.0	28.8	31.2	27.4	30.4	30.3	40.8	26.4	34.8	32.9	40.3	43.5	44.8	41.8	48.6	41.9		52.8
	〃 修正値	28.5	30.0	30.5	28.7	30.4	28.8	39.6	28.9	38.2	33.7	40.9	43.9	45.8	43.4	46.5	44.3	1.0	51.0
	〃 傾向値	24.0		25.8		27.6		30.4		33.2		35.4		38.4		41.2			
在庫・資金繰り	原材料在庫数量	1.4	2.8	2.7	0.0	5.6	6.8	6.7	1.1	12.1	8.0	-1.5	7.6	-3.5	3.1	-1.4	-6.0		-5.6
	〃 修正値	3.6	1.8	3.2	1.0	5.0	5.2	3.6	2.1	12.0	5.9	-1.2	7.0	-1.9	1.4	-2.0	-3.0	0.0	-4.9
	資金繰り	-19.2	-16.0	-14.1	-28.8	-20.2	-26.0	-16.9	-21.5	-20.0	-11.7	-15.9	-15.7	-10.1	-27.5	-6.5	-20.5		-12.0
	〃 修正値	-22.1	-16.9	-12.8	-28.2	-19.9	-25.7	-16.4	-23.2	-20.7	-13.3	-16.2	-14.4	-10.9	-26.3	-7.4	-21.4	3.0	-14.8
前年同期比	売上額	-14.9		4.2		-28.6		-23.6		-28.2		-29.2		-20.5		-14.3			
	収益	-25.0		-2.8		-33.3		-37.0		-31.4		-40.0		-30.3		-27.6			
雇用	残業時間	-1.5	-1.4	-4.2	-7.4	-34.1	-27.8	-21.6	-11.0	-2.8	-4.1	-7.7	5.6	-27.3	-23.1	-22.1	-10.2		-13.2
	人手	-54.4	-45.3	-56.8	-51.5	-40.7	-37.8	-48.6	-49.5	-56.3	-58.1	-69.2	-54.9	-41.6	-43.1	-52.6	-48.3		-50.0
借入金	借入難易度	3.0		0.0		6.7		8.5		8.7		0.0		-1.2		6.6			
	借入をした(%)	37.3	18.8	31.9	24.6	26.4	20.6	28.8	13.1	26.8	21.1	32.3	18.2	29.9	31.7	26.0	15.7		18.9
	借入をしない(%)	62.7		68.1	75.4	73.6	79.4	71.2	86.9	73.2	78.9	67.7	81.8	70.1	68.3	74.0	84.3		81.1
有効回答事業所数		73		78		94		77		71		70		90		77			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		H29		H30		H30		H30		H30		H31		H31～R1		R1		対	R1
項目		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		前期比	10～12月期
設備投資動向（％）	現在の設備	-6.2	-4.2	-6.8	-7.8	2.2	-2.7	-6.9	0.0	-6.1	-8.3	-19.0	-7.6	-10.3	-9.5	-17.1	-12.8		-16.0
	実施した	24.2	25.4	27.9	24.2	27.0	19.1	21.7	28.2	38.8	20.6	32.2	32.8	35.8	32.8	31.5	32.5		31.5
	事業用地・建物	4.5	4.2	2.9	4.5	2.2	2.9	1.4	4.7	4.5	1.5	6.8	3.1	2.5	4.9	1.4	2.4		6.8
	機械・設備の新・増設	6.1	4.2	7.4	1.5	4.5	1.5	0.0	4.7	11.9	1.5	1.7	9.4	6.2	3.3	8.2	2.4		8.2
	機械・設備の更改	6.1	8.5	7.4	4.5	2.2	7.4	4.3	4.7	3.0	2.9	5.1	6.3	6.2	4.9	5.5	6.0		4.1
	事務機器	12.1	12.7	16.2	7.6	9.0	8.8	14.5	9.4	20.9	10.3	20.3	9.4	13.6	13.1	12.3	14.5		8.2
	車両	9.1	12.7	13.2	15.2	18.0	11.8	15.9	15.3	20.9	14.7	11.9	20.3	19.8	19.7	27.4	19.3		23.3
	その他	0.0	1.4	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	1.7	0.0	1.2	0.0	0.0	1.2		0.0
	実施しない	75.8	74.6	72.1	75.8	73.0	80.9	78.3	71.8	61.2	79.4	67.8	67.2	64.2	67.2	68.5	67.5		68.5
経営上の問題点（％）	売上の停滞・減少	30.9		31.4		39.3		31.9		37.7		40.3		43.7		33.8			
	人手不足	54.4		48.6		44.0		55.6		53.6		61.3		46.0		43.2			
	大手企業との競争の激化	8.8		4.3		4.8		2.8		4.3		1.6		1.1		6.8			
	同業者間の競争の激化	19.1		25.7		21.4		23.6		15.9		12.9		16.1		17.6			
	親企業による選別の強化	1.5		2.9		2.4		0.0		4.3		3.2		4.6		4.1			
	合理化の不足	4.4		1.4		1.2		4.2		1.4		1.6		3.4		2.7			
	利幅の縮小	22.1		28.6		28.6		25.0		17.4		25.8		24.1		29.7			
	材料価格の上昇	10.3		12.9		15.5		15.3		15.9		27.4		17.2		14.9			
	下請の確保難	26.5		27.1		23.8		18.1		26.1		21.0		29.9		29.7			
	駐車場・資材置場の確保難	5.9		4.3		6.0		2.8		4.3		1.6		4.6		5.4			
	人件費の増加	27.9		24.3		14.3		23.6		24.6		17.7		20.7		14.9			
	人件費以外の経費の増加	5.9		5.7		8.3		5.6		11.6		8.1		5.7		9.5			
	技術力の不足	10.3		8.6		14.3		16.7		11.6		12.9		10.3		12.2			
	代金回収の悪化	1.5		1.4		0.0		0.0		0.0		1.6		2.3		1.4			
	天候の不順	0.0		1.4		4.8		15.3		4.3		3.2		3.4		4.1			
	地場産業の衰退	2.9		8.6		3.6		0.0		0.0		0.0		4.6		2.7			
	大手企業・工場の縮小・撤退	0.0		1.4		0.0		0.0		5.8		0.0		0.0		2.7			
	その他	0.0		1.4		3.6		1.4		0.0		0.0		1.1		0.0			
	問題なし	4.4		7.1		4.8		1.4		2.9		3.2		3.4		6.8			
重点経営施策（％）	販路を広げる	29.4		34.2		26.4		24.3		36.2		33.3		31.0		36.5			
	経費を節減する	38.2		32.9		34.5		35.1		33.3		25.4		34.5		31.1			
	情報力を強化する	19.1		19.2		31.0		27.0		30.4		23.8		20.7		18.9			
	新しい工法を導入する	4.4		1.4		1.1		1.4		2.9		1.6		6.9		4.1			
	新しい事業を始める	0.0		2.7		5.7		4.1		1.4		7.9		4.6		5.4			
	技術力を高める	32.4		32.9		29.9		39.2		29.0		31.7		32.2		36.5			
	人材を確保する	54.4		54.8		50.6		55.4		52.2		58.7		52.9		54.1			
	パート化を図る	0.0		0.0		2.3		2.7		2.9		0.0		2.3		4.1			
	教育訓練を強化する	17.6		17.8		16.1		9.5		13.0		11.1		10.3		13.5			
	労働条件を改善する	13.2		11.0		13.8		17.6		11.6		14.3		16.1		17.6			
	不動産の有効活用を図る	2.9		2.7		3.4		2.7		4.3		4.8		1.1		4.1			
	その他	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
	特になし	7.4		13.7		8.0		10.8		7.2		4.8		8.0		9.5			
有効回答事業所数		73		78		94		77		71		70		90		77			

調査の概要

- 1. 調査時期 令和元年7月～9月期
- 2. 調査方法 郵送アンケート調査
- 3. 調査の対象と回収状況

	調査対象事業所数	有効回答事業所数
製造業	102	75
卸売業	102	73
小売業	102	59
サービス業	102	77
建設業	102	77
合計	510	361